

M030シリーズ EXCELで作動する 「投資総合分析」

取扱説明書

概要

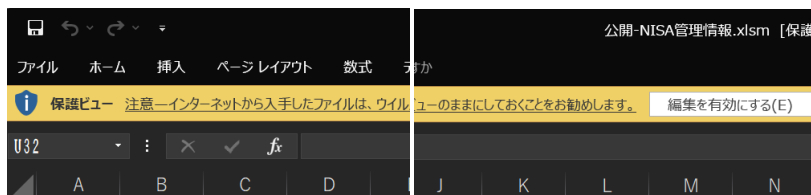
20241001 初版 日本語版公開

ご挨拶


公開-NISA管理情報、XSLMのご利用ありがとうございます

ダウンロードしたEXCELにはeMAXIS SLIM S&P500の基準価額の指標と投資総合分析のソフト3種が記録されています。

- ・ダウンロード直後EXCELを開くと次のメッセージが表示される事があります
- ・お手持ちのウイルスチェックソフトで検証後、編集を有効にしてください
- ・有効にしないと 各シートを開いて閲覧する事はできますが更新やソフト実行を行えません
- ・有効にすると 各シートの**設定変更が行えソフトの実行も**できるようになります




公開-NISA管理情報、XSLMの「はじめに」を開いて下さい

- ・操作ガイドが表示されますので簡易操作ガイドとしてご利用ください
- ・「試してみよう」でEXCELのeMAXIS SLIM S&P500のどんな調査閲覧が行えるか把握します
- ・慣れてきたら「初期設定」や「初めての操作」に進んで下さい
- ・このボタンをクリックするとMQ30シリーズ投資総合分析が開始します



各シートの用途や日々の更新や高度な設定については詳「取扱説明書」をご参照ください

[illegible]

- はじめに
 - 1. NISAや投資信託は本当にもうかるの？
 - 2. このソフトはつまてNISAしか管理できないの？
- はじめてのステップ
 - 1. P指標DやP指標Mの概要
 - 2. P指標D2やP指標M2の概要
 - 3. P騰落額(D)下落額 TOP30の表示(1日の下落額)
 - 4. P騰落額K(D)下落額 TOP30の表示(連続した下落額)
 - 5. S&P500 9月の下落は本当か？
 - 6. ES-S&P500 2023年度の騰落率のグラフ例
 - 7. NISAつまてと株と成長投資株の騰落率比較？
 - 8. ES-S&P500 年間騰落率の一覧表示
 - 9. 始値～終値の数値について
 - 10. 基準価額の回復にどの程度の期間を要した？
 - 11. P終値(基準価額)のある範囲を調査する
 - 12. 騰落日数の分布を調べる
- 基本編
 - 1. 全体の機能の紹介
 - 2. 使用するファイルのPATH FN WS など
 - 3. ワークシートの用途と処理時間概算
 - 4. 指標の登録設定(NISA台帳の にY記入)
 - 5. 指標Dの作成
 - 6. メニュー B7. 複写でCSV変換を指標Dへコピー
 - 7. 指標Mの作成
 - 8. メニュー B7. 複写でYMD変換を指標Mへコピー
 - 9. 日常の更新作業
 - 10. 指標Dの更新(例:1ヶ月分)
 - 11. 指標Mの更新(例:1ヶ月分)
 - 12. メニュー A1. 各指標情報の確認
 - 13. メニュー A8. 期間設定
 - 14. メニュー B1. 対象シートを選択
 - 15. メニュー B2. 特定シートをクリア
 - 16. メニュー B3. 見出し行を設定
 - 17. メニュー B4. 騰落日数・騰落率K・騰落額Kクリア
 - 18. メニュー B5. 安値高値クリア
 - 19. メニュー B6. 分類や重複削除
 - 20. メニュー B7. クリア後指標シートの複写
 - 21. メニュー B8. 他の指標ファイルを選択
 - 22. メニュー C1. 初期化(下記2-4を実施)
 - 23. メニュー C2. CSV保管先登録
 - 24. メニュー C3. 指標ファイルを登録
 - 25. メニュー C4. 指標を管理情報内へ登録
 - 26. メニュー C5. 特定指標を削除
 - 27. メニュー C6. 特定指標の抽出
- 応用編
 - 1. 成長投資株FTX、株・債券・FXなども管理可能
 - 2. CSVが提供されている投資案件
 - 3. NISA台帳への登録方法
 - 4. 特定指標だけを更新したい
 - 5. ビボットテーブルの新規作成
- こんな時は
 - 1. NISA台帳からCSVをダウンロード
 - 2. シートのフォント種類や大きさ
 - 3. シート列の幅や書式設定の変更
 - 4. 基準価額を分配金タイプに変更する
 - 5. 見出し行を変更したい
 - 6. 指標で扱える件数を増減したい
 - 7. メニューやメッセージの変更
 - 8. 指標シート名の変更
 - 9. 第1メモリ/第2メモリ自動書出しの制御
 - 10. 終了時にファイルを保存する/しない
- ご利用にあたって
 - 1. 開発意図
 - 2. M030投資総合分析のトラブル時は
 - 3. 著作権

NISAや投資信託は本当にもうかるの？

1896年に株式の売買が米国で開始されて128年

米国で\$29で売買が始まったダウ。2024年8月時点では基準価額が\$40,659で取引されています。長い年月をかけて基準価額が1,400倍に達しています。種々の本になぜ価額が高騰していくのか分析されていますが主要因は①人気銘柄の高騰②インフレ③GDPへの追従などあります。日本は第二次大戦前後で物資不足が生じ驚異的なインフレが発生しました。1941年から1951年の10年間で物価が180倍高騰し売上金額や収益もそれに従い増加(日本銀行・企業統計局)。その結果、1952年の日経平均は一年で+118%と驚異的な騰落率を達成しました。ものの不足が生じ、それを欲しい人が沢山いると商品価格も上昇。これは生産・製造された商品や製品だけでなく不動産や証券にも同様の状態が発生します

ひとたび**上昇すると元の価格に戻れない**。これが騰貴する主要因のようです

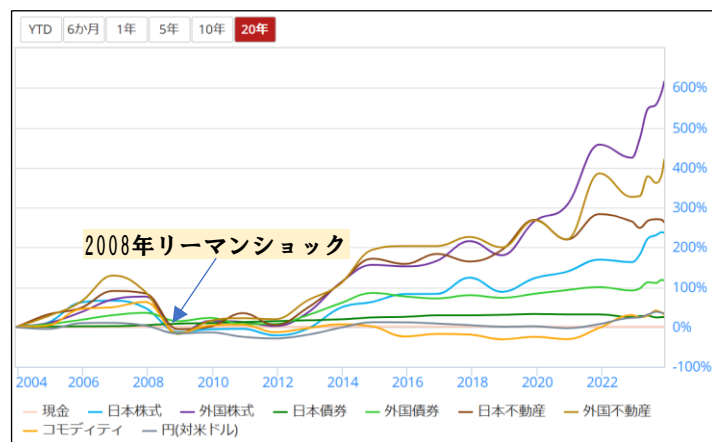
日本国内で1989年末の日経平均(以下N225と表記)は38,915円、直後に発生したバブル崩壊で6,997円へと大暴落が発生。当時投資していた方はおおよそ**34年間**も待って2024年によりやく回復しました。一方、バブル崩壊後の最も下落した2008年に最安値の約6,997円で購入した方は**16年間**で5.5倍以上の38,000円の価値を手にされています

米国のS&P500も最長**24年**かかった暴落があります。これは1928年の世界恐慌で基準価額がまだ\$27の頃の出来事です。これも今では200倍の\$5,600です。日本も米国も結果的に見れば指標型のファンドである程度の期間を経れば回収でき儲かるとの話になります

NISA商品は個別会社への株式投資と異なりインデックス型の購入が主体です。100~2,500程度の会社の株を一括して購入する仕組みです。地域も1国に偏らず全世界に分布するオールカントリーなど選択でき、特定の会社や特定の国に投資を行うよりリスク低減を図れます。NISA商品は売買手数料がないファンドが多く金融庁が後押しする比較的安全な投資分野と言えます

右図は20年間の指標推移ですが、主要インデックスのDOW/S&P500/NASDAQ/N225/TOPIXはどれも3-4年に一度**単年度で下落する時があります**。が、**次の年には回復**し下落した分も含め十分な収益をカバーしてくれます。実際の数値がどの程度のものなのか、次ページ以降の「はじめてのステップ」を参照し確かめてみてください。

※「はじめてのステップ」はソフトの操作なしにEXCEL機能のみで様々な分析を行います
慣れてきてから基本に進み、ソフトの操作に進んで下さい



指標	対象会社数
DOW	1885年 米国製造業を主体とする30社
S&P500	1789年 米国主要企業500社
NASDAQ	1971年 世界のIT企業をはじめ規模は約3000社
NASDAQ-100	1985年 米国主体で金融系を除くTOP100社
N225	1950年 日経平均 日本を代表する銘柄225社
TOPIX	1969年 東証株価指数 日本を広範囲にカバーする2100社

このソフトはつみたてNISAしか管理できない？

下表はNISAとNISAではない株式や金など投資案件を混在で処理した例です。下記は2024年7月初～8月末の月報に相当する内容です。2024年8月度は日経平均の大暴落があったためほとんどの投資信託は下表のように下落しました。この投資総合分析には国内で最も投資額の大きい三菱UFJのeMAXIS SLIM S&P500を同梱しています。まずはそれらデータを参照しながら利用方法を学んでください

	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
②ダイワUS-REAT	M	D-USREIT	2024/07/31	49,486	51,176	48,779	49,552	#####	0.13%	66	1	2024/08/31	1			0.13%	66
	M	D-USREIT	2024/08/31	48,601	49,393	46,421	48,778	#####	-1.56%	-774	-1					-1.56%	-774
③eMAXIS 日経半導体	M	E-SEMI	2024/07/31	10,035	10,035	8,202	8,764		-12.67%	-1,271	-2	2024/08/31	1			-15.57%	-1,562
	M	E-SEMI	2024/08/31	8,636	8,636	6,705	8,473		-3.32%	-291							
①eMAXIS SLIM S&P500 NISA	M	ES-S&P50	2024/07/31	31,693	32,813	29,851	29,851	¥49,821	-5.81%	-1,842	-2	2024/08/31	1			-7.87%	-2,495
	M	ES-S&P50	2024/08/31	29,763	29,798	27,091	29,198	¥49,916	-2.19%	-653							
⑥フィデリティUS	M	F-USHE	2024/07/31	46,692	47,045	44,665	44,665	¥7,137	-4.34%	-2,027	-2	2024/08/31	1			-7.14%	-3,333
	M	F-USHE	2024/08/31	43,968	43,993	42,204	43,359	¥6,917	-2.92%	-1,306							
⑦MUFGベイリー	M	M-BAIL	2024/07/31	8,126	8,416	7,487	7,487	¥446	-7.86%	-639	-2	2024/08/31	1			-8.36%	-679
	M	M-BAIL	2024/08/31	7,513	7,513	6,486	7,447	¥439	-0.53%	-40							
⑧三菱UFJ純金	M	M-GOLD	2024/07/31	29,168	30,285	28,262	28,783	¥2,301	-1.32%	-385	-2	2024/08/31	1			-1.90%	-555
	M	M-GOLD	2024/08/31	28,515	28,613	26,928	28,613	¥2,346	-0.59%	-170							
④米国 S&P500 NISA	M	S&P500	2024/07/31	5,471	5,670	5,391	5,522	#####	0.94%	51	2			2024/08/31	1	2.99%	164
	M	S&P500	2024/08/31	5,538	5,643	5,119	5,635	#####	2.03%	112							
⑨トヨタ自動車	M	TOYOTA	2024/08/31	2,576	2,749	2,183	2,661	#####	3.28%	85	1					3.28%	85
⑩テスラ	M	TSLA	2024/07/31	219	271	215	232	#####	6.02%	13	1	2024/08/31	1			6.02%	13
	M	TSLA	2024/08/31	228	232	182	221	#####	-4.73%	-11	-1					-4.73%	-11
⑤ドル/円為替	M	USDJPY	2024/07/31	161	162	150	150		-6.81%	-11	-2	2024/08/31	1			-9.12%	-15
	M	USDJPY	2024/08/31	150	151	142	146		-2.47%	-4							

一口メモ

- ・NISAでない投資銘柄や案件に関する登録方法は応用編でご紹介しています

はじめてのステップ

このファイルには投資者と総資産額がとて多い**三菱UFJアセット**が運用する**eMAXIS SLIM S&P500** (2024年8月資産高約5兆円) の指標データを同梱。

P指標DやP指標D2を開いてどんな分析が行えるか閲覧してみてください

*1: 以下eMAXIS SLIM S&P500はES-S&P500と略称で記載します

■初めてのステップ

投資分析のソフトを使わずとも、既に分析が可能なES-S&P500のシートがEXCELの**ピボットテーブル** 機能を利用し表示されます。**スライサー**や**タイムライン**、さらに**トップ30**や**範囲指定**など**値フィルター**を指定し抽出・表示ができます。4種のシートでどのような調査や分析が行えるかまずはお試し下さい

*2: P指標D/P指標M/P指標D2/P指標M2 とPから始まるシート4種

■基本編

分析や調査に慣れて役立ちそうと感じたり、更に踏み込んで活用してみたら基本編に進みます。初期設定・日々の作業・指標の更新作業など日常行う処理ができるようになります

■応用編

応用編ではNISA台帳にない投資案件の設定登録や、ご自分専用のピボットテーブルの作成など機能を拡張する事が学べます

■こんな時

表示するフォントや列幅を変更するなど更にステップアップできます

■ご利用にあたって

ソフトが途中で停止時の障害報告や機能拡張の相談などご案内します

どのような事が
調べられる？

P指標Dを選択してまずは試してみよう

The screenshot shows the software interface with several panels. At the top, a '選択' (Selection) panel shows 'P指標D' selected. Below it, a 'シート見出し' (Sheet Header) panel shows 'P指標D' selected. To the right, a 'タイムライン' (Timeline) panel shows a date range from 2019 to 2023. Below the timeline, a text box explains: '2019から2024の期間を選択・最初に2019をクリック・Ctrlで2024まで移動しSHIFTを押しながら2024をクリック'. In the center, a 'スライサー' (Slicer) panel shows 'YMD' selected. To the right, a '指標' (Indicator) panel shows 'ES-S&P500' selected. Below the slicer, a '値フィルター' (Value Filter) panel shows '指標D' selected. Below the value filter, a '簡易表示' (Simple Display) panel shows a table with columns 'WS' and 'P指標M2'. The table contains the following data:

WS	P指標M2
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	全期間
値フィルター	トップテン→騰落額→下位→30
並べ替え	

Below the table, a text box explains: 'シート見出し・スライサー・タイムラインや各種設定フィルターを上表のように簡易表示で記載しました'. At the bottom, a panel titled 'EXCEL標準機能 ピボットテーブルで閲覧・抽出' (Excel Standard Function Pivot Table for Viewing and Extraction) lists 12 items:

1. P指標DやP指標Mの概要
2. P指標D2やP指標M2の概要
3. P騰落額 (D) 下落額 TOP30の表示 (1日の下落額)
4. P騰落額K (D) 下落額 TOP30の表示 (連続した下落額)
5. S&P500 9月の下落は本当か？
6. ES-S&P500 2023年度の騰落率のグラフ例
7. NISAつみたて枠と成長投資枠の騰落率比較？
8. ES-S&P500 年間騰落率の一覧表示
9. 始値～終値の数値について
10. 基準価額の回復にどの程度の期間を要した？
11. P終値 (基準価額) のある範囲を調査する
12. 騰落日数の分布を調べる

P指標DやP指標Mの概要

P指標Dは毎日の履歴を閲覧

- ワークシート下部のシート見出しからP指標Dを選択します
- 指標内容が表示されますが、スライサーで選択した指標が表示され、タイムラインで指定した日付け範囲が表示されます
- 2024年度のみ表示したい時はタイムライン→2024を選択、2019～2024の簡易を選択すると6年分が表示されます

行ラベル	P始値	P高値	P安値	行ラベル	P始値	P高値	行ラベル	P始値	P高値
1月	16,182	16,182	16,182	2019年	9,516	9,516	2024年	24,154	24,154
2月	16,786	16,786	16,786	2020年	12,205	12,205	2024/01/04	24,342	24,342
3月	16,557	16,557	16,557	2021年	13,556	13,556	2024/01/05	24,552	24,552
				2022年	18,320	18,320	2024/01/09		
				2023年	18,233	18,233			
				2024年	25,260	25,260			

田をクリック→各年度が表示

田をクリック→2024年1月が表示

P指標Mは週/月/四半期/年 単位の履歴を閲覧

- シート見出しでP指標Mを選択。スライサーやタイムラインで選択する方法は同一です
- YMDにはMQWYが追加表示され月旬週年間のデータ選択が可能になります。Mは月末までを、Qは3/6/9/12月末の3カ月毎を、Wは日曜日まで、Yは年始～年末の数値が表示されます

行ラベル	P始値	P高値	P安値	行ラベル	P始値	P高値
1月	18,619	19,485	18,071	2021年	13,339	13,792
2月	18,934	20,004	18,638	2022年	19,291	19,408
3月	19,563	20,768	19,010	2023年	17,690	18,714
4月	20,629	21,190	20,123	2024年	24,154	26,026

田をクリック→各年度が表示

総計 20,424 21,265

毎年1月度の情報が表示されます

総計には1月～12月の平均値が表示されます

用途や活用方法

- P指標DとP指標MはEXCELに内蔵されたビボットテーブル機能を活用しています
- 最も基本的な指標データを時系列表示してくれ、タイムラインで複数年を選択すれば複数年の平均値を表示します。行の右端のP件数にはその件数が表示され、YMDがYで4件と表示されていれば4年間を指します。スライサーで単年度を選択するとその年度のみ表示されP件数は1件で1年分になります

一口メモ

このファイルには解析ソフトに加え国内で最も資産高(出来高 2024年現在約5兆円)の多いeMAXIS SLIM S&P500のデータが添付されています。この取扱説明書でES-S&P500と記載してあればeMAXIS SLIM S&P500を指し指標Dや指標Mに登録された指標名にも利用しています

シート見出し

P指標D P指標M P指標D2 P指標M2

スライサー

YMD
D
P指標D

YMD
M
P指標M

指標
ES-S&P500
(空白)

タイムライン

日付け
すべての期間
2019 2020 2021 2022 2023

2019から2024の期間を選択
・最初に2019をクリック
・で2024まで移動しSHIFTを押しながら2024をクリック

簡易表示

WS	P指標M
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	全期間
値フィルター	
並べ替え	

シート見出し・スライサー・タイムラインや各種設定フィルターを上表のように簡易表示で記載する事もあります

P指標D2やP指標M2の概要

P指標D2の選択

- ・ シート見出しからP指標D2を選択します。スライサーやタイムライン機能は前頁と同じです
- ・ P指標D2はもう一步踏み込んでトップ30や範囲を絞った一覧表などを作成できます
- ・ 次の例はES-S&P500が最も暴落した額はどの程度か抽出するための調査・操作例です

行ラベル	P始値	P高値	P安値
2018/12/17	9,854	9,854	9,854
2022/12/14	19,219	19,219	19,219

日付フィルター(D) 値フィルター(V) 検索

☒ (すべて選択)
☒ 2018/7/4
☒ 2018/7/5

この項目で調べたいトッペンや範囲の絞りこみ内容を選択する

トッペンフィルター(日付け)

表示 P騰落額K の 下位 30 項目

上位・下位選択

OK キャンセル

フィルターのクリア(C)

指定の値に等しい(E)...

指定の値に等しくない(N)...

指定の値より大きい(G)...

指定の値以上(O)...

指定の値より小さい(L)...

指定の値以下(Q)...

指定の範囲内(W)...

指定の範囲外(B)...

☒ トッペン(I)...

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
2018/12/17	9,854	9,854	9,854	9,854	83.64	-2.02%	-203	-6	2018/12/18	1	2019/02/04	29	-14.04%	-1,412	1
2022/12/14	19,219	19,219	19,219	19,219	16671.8	-0.98%	-190	-6	2022/12/15	1	2023/02/06	35	-8.41%	-1,632	1
2023/07/06	22,842	22,842	22,842	22,842	24001.48	-0.27%	-61	-6	2023/07/07	1	2023/07/24	11	-3.68%	-842	1

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
2020/02/25	12,171	12,171	12,171	12,171	589.23	-5.37%	-690	-5	2020/02/26	1	2020/08/11	112	-15.83%	-2,036	1
2020/03/06	10,936	10,936	10,936	10,936	624.41	-4.51%	-516	-3	2020/03/09	1	2020/05/27	53	-15.67%	-1,795	1
2022/06/10	18,895	18,895	18,895	18,895	12684.23	-2.54%	-492	-3	2022/06/13	1	2022/07/20	27	-9.10%	-1,764	1

並び替えたい数値をクリックしてデータ→並び替え→昇順(降順)と進む

データ

並び替え

値で並び替え

並び替えオプション(O) 並び替えの方向(D)

☒ 昇順(S) ☒ 行単位(I)

☐ 降順(L) ☐ 列単位(B)

概要

P騰落額Kをキーとして、日付けを昇順で並び替えます。

OK キャンセル

P騰落額Kの列に下落額の大きい順に並び替えられてデータが表示される

用途や活用方法

- ・ 経済ニュースで米国株式や日経平均の騰落が報道されると騰落額がどの程度の大きさなのか判断したい時が生じます。そのような時に過去事例からその影響の大きさがどの程度の期間と額が継続しそうか調査したいですね。その材料を提供するのがP指標D2やP指標M2です。P指標M2はP指標D2の月旬週年版であり締日が異なるだけで操作は同じです
- ・ このシートはEXCELのピボットテーブル機能を活用しています。ピボットテーブルはもっと多くの機能があるので更なる活用方法を勉強してみてください

一口メモ

2024年現在で米国ダウやS&P500は124年、NASDAQも87年の歴史があります。日経平均・N225も実に75年に及びます。数十年と記録がある指標は騰落率や騰落率Kはとても参考になります。が、騰落額などは数十年前と物価が違い過ぎるため参考になりません。額を調査する時は5-10年の範囲が適切な対象とお考え下さい

シート見出し

P指標D P指標M P指標D2 P指標M2

スライサー

YMD

D

(空白)

指標

ES-S&P500

(空白)

タイムライン

日付け

すべての期間

2019 2020 2021 2022 2023

簡易表示

WS	P指標D
スライサー	D ES-S&P500
タイムライン	全期間
値フィルター	値フィルタートッペン→P騰落額K→下位→30 項目
並び替え	P騰落額K→昇順

75年で基準価額は何倍になった？

指標と年代	1900/1/1	1950/1/1	2004/1/1	2024/1/1	1950年対比
DOW	\$49	\$199	\$10,410	\$37,430	188倍
S&P500	\$7	\$17	\$1,108	\$4,705	277倍
NASDAQ		\$11	\$2,007	\$14,592	1,326倍
N225		¥109	¥10,825	¥33,377	306倍
TOPIX			¥1,179	¥2,394	2倍(20年)

TOPIXは2004/3/31公開開始の基準価額

P騰落額 (D) 下落額 TOP30の表示 (1日の下落額)

YMD

(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
すべての期間
2019 2020 2021 2022 2023

WS	P指標D2
スライサー	D ES-S&P500
タイムライン	全期間
値フィルター	トップテン→P騰落額→下位→30
並べ替え	P騰落額→昇順

騰落額 TOP30で日々の騰落額のBest30(騰貴)やWorst30(下落)が表示できます

- TOP30の項目は行ラベルを除いてどの列でも指定できます
- 下落幅の大きかったWORST30を抽出するには値フィルターで下位を選択。BEST30を抽出するには値フィルターで上位を選択します

発生日	当日最終終値 (基準価額)					騰落額で下落幅が大き い順に表示される (1日 の下落額)			この日の基準価額より 安値になった日とその 日数		この日の基準価額が回 復した日とその日数					
a) 指標分析 指標D TOP30の表示																
行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数	
2024/7/25	29,979	29,979	29,979	29,979	9975.58	-3.89%	-1,212		2024/07/26	1	2024/07/29	2			1	
2020/03/17	8,671	8,671	8,671	8,671	540.58	-12.14%	-1,198	-1	2020/03/24	4	2020/03/18	1	-12.14%	-1,198	1	
2024/07/18	31,370	31,370	31,370	31,370	52056.03	-3.07%	-993	-1	2024/07/22	2	2024/07/19	1	-3.07%	-993	1	
2020/3/13	8,885	8,885	8,885	8,885	542.2	-8.98%	-877		2020/03/17	2	2020/03/16	1			1	
2022/05/19	17,640	17,640	17,640	17,640	11365.37	-4.68%	-866	-3	2022/05/20	1	2022/05/24	3	-5.70%	-1,054	1	
2022/6/14	17,623	17,623	17,623	17,623	11843.59	-4.49%	-829		2022/06/17	3	2022/06/15	1			1	
2024/7/12	32,000	32,000	32,000	32,000	52780.4	-2.48%	-813	-1	2024/07/18	3	2024/07/16	1	-2.48%	-813	1	
2020/6/12	10,949	10,949	10,949	10,949	1054.17	-6.15%	-717				2020/06/15	1			1	
2022/6/17	17,125	17,125	17,125	17,125	11600.68	-4.02%	-717	-1			2022/06/20	1	-4.02%	-717	1	
2022/5/10	18,154	18,154	18,154	18,154	11442.76	-3.75%	-707		2022/05/12	2	2022/05/11	1			1	
総計	192,396	192,396	192,396	192,396	203201.4	-53.64%	-8,929	-7	2022/08/30	18	2022/06/03	13	-27.40%	-4,775	10	

用途や活用方法

簡易表示の設定を行うと1日で発生した下落額が大きい順に表示されます

- 同じような大幅下落が生じたとき、回復までの日数や下落が継続するか判断
- 2行目の2020/3/17は新型コロナによる暴落で1日の騰落率では最大級となります

一口メモ

- 米国S&P500の124年間に及ぶデータでは2020/3/16に発生した下落額が最も大きく\$-325に及びました
- 当日の為替レートが106円/\$なので34,450円となります。騰落率は1日で約-12%に及びました
- 新型コロナによる影響で世界中に大暴落が発生しブラックマンデーとも呼ばれています

ES-S&P500の日数は

この日数は営業日数であり証券取引所の休業日を除外した日数です。1年を約244日として扱います

平均すると
4.7が約1週間
20.3が約1ヶ月
244が約1年に相当します

P騰落額K (D) 下落額 TOP30の表示 (連続した下落額)

YMD

(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
すべての期間
2019 2020 2021 2022 2023

WS	P指標D2
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	全期間
値フィルター	トップテン→P騰落率K→下位→30
並べ替え	P騰落率K→昇順

騰落額Kと騰落額と何が違う？

- 騰落は1日で完結せず、**数日間連続**する事があります。連続して騰貴/下落した日数が何日間かでその期間で合計した騰落率が**騰落率K**、騰落額が**騰落額K**です
- 下落幅の大きかったWORST30を抽出するには値フィルターで**下位**を選択。BEST30を抽出するには値フィルターで**上位**を選択します

発生日	当日最終終値 (基準価額)				連続した下落日数を表 示。-5は下落が5日間 継続した事を示します					この日の基準価額が回 復した日とその営業日 数		連続して下落した騰落 率と下落額の合計額			
a) 指標分析 指標D TOP30の表示															
行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
2020/02/25	12,171	12,171	12,171	12,171	589.23	-5.37%	-690	-5	2020/02/26	1	2020/08/11	112	-15.83%	-2,036	1
2020/03/06	10,936	10,936	10,936	10,936	624.41	-4.51%	-516	-3	2020/03/09	1	2020/05/27	53	-15.67%	-1,795	1
2022/06/10	18,895	18,895	18,895	18,895	12684.23	-2.54%	-492	-3	2022/06/13	1	2022/07/20	27	-9.10%	-1,764	1
2022/12/14	19,219	19,219	19,219	19,219	16671.8	-0.98%	-190	-6	2022/12/15	1	2023/02/06	35	-8.41%	-1,632	1
2022/04/21	19,999	19,999	19,999	19,999	12233.12	-0.95%	-192	-5	2022/04/22	1	2022/08/16	77	-7.70%	-1,555	1
2024/07/24	31,191	31,191	31,191	31,191	51953.83	-0.71%	-224	-3	2024/07/25	1			-4.59%	-1,441	1
2018/12/17	9,854	9,854	9,854	9,854	83.64	-2.02%	-203	-6	2018/12/18	1	2019/02/04	29	-14.04%	-1,412	1
2020/03/12	9,762	9,762	9,762	9,762	587.29	-5.10%	-525	-2	2020/03/13	1	2020/03/16	2	-13.63%	-1,402	1
2023/03/08	19,385	19,385	19,385	19,385	18593.01	-0.65%	-126	-5	2023/03/09	1	2023/04/03	17	-6.77%	-1,321	1
2020/03/17	8,671	8,671	8,671	8,671	540.58	-12.14%	-1,198	-1	2020/03/24	4	2020/03/18	1	-12.14%	-1,198	1
総計	160,083	160,083	160,083	160,083	114561.14	-34.96%	-4,356	-39	2021/07/08	13	2021/05/03	353	-107.88%	-15,556	10

用途や活用方法

- 同じような下落が生じたとき、最安値になる迄何日あるか等の想定を行い購入判断を行う
- 連続して下落した時の日数・P騰落率K・P騰落額の規模などを把握しておく
- P騰落日数でほぼ何日程度下落が続くか平均値の把握や判断材料を得ておく

一口メモ

- 米国S&P500の124年間に及ぶデータでは最長となるP騰落日数は1941年10月発生の-13日
- 最悪のP騰落率K暴落率は1987年10月発生の-28.51%
- 最悪のP騰落額K暴落額は2022年10月発生の\$-432が最大の数値となります

S&P500 9月の下落は本当か？

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
2019年 ~ 2024年
2019 2020 2021 2022 2023 2024

WS	P指標M
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	2019-2024 5.5年間
値フィルター	
並べ替え	

S&P500の9月の下落は本当でした

- 投資信託を運用し始めると一年間に波があるのに気づきます。この設定はそのような調査と迅速な判断に役立ちます

発生日	当月末の基準価額 (5.5年の平均値)					1年間で9月だけ騰落率が低い のは事実										
行ラベル	▼	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
1月		15,859	16,700	15,491	16,328	¥10,655	2.05%	313	1	2020/11/08	5.3	2021/10/04	2.2	5.89%	472	6
2月		16,247	17,212	15,916	16,632	¥11,580	1.39%	304	-2	2020/12/19	1.7	2021/10/14	1.5	-19.97%	-2,430	6
3月		16,581	17,522	15,779	17,129	¥12,641	2.01%	497	0	2020/11/13	1.5	2021/11/29	2.0	5.53%	977	6
4月		17,092	17,751	16,684	17,486	¥13,223	3.16%	357	2	2020/11/29	1.0	2021/12/19	1.7	15.26%	1,967	6
5月		17,486	18,011	16,875	17,736	¥14,116	0.91%	250	-1	2022/06/20	4.7	2022/01/03	1.2	-6.64%	-730	6
6月		17,720	18,819	17,363	18,512	¥15,575	3.64%	775	2	2022/10/08	3.3	2021/07/30	1.0	7.56%	776	6
7月		18,557	19,167	18,053	18,585	¥15,848	1.62%	73	0	2022/09/15	1.5	2021/09/12	1.4	-0.81%	-668	6
8月	▼	18,644	19,132	18,243	18,789	¥16,181	1.46%	204	-1	2021/11/05	2.2	2021/11/05	2.2	-4.71%	-520	6
9月		16,661	17,139	15,980	16,272	¥9,731	-2.09%	-407	-0	2021/12/23	2.8	2021/11/11	1.4	-0.44%	-320	5
10月		16,188	17,186	15,812	16,777	¥10,401	3.19%	505	2	2021/09/20	2.7	2022/01/05	2.2	11.54%	2,035	5
11月		16,820	17,659	16,615	17,290	¥11,151	3.57%	513	5	2021/09/30	2.0	2022/01/23	1.8	25.60%	4,202	5
12月		17,311	17,785	16,680	17,371	¥11,638	0.76%	81		2021/02/14	1.5	2022/02/11	1.4			5
総計		17,118	17,864	16,645	17,437	¥12,846	1.83%	296	1	2021/10/16	2.6	2021/11/19	1.7	6.12%	838	68

9月の田を押すと毎年の内容が表示されます

9月															
2019年	10,491	11,020	10,399	10,808	¥302	2.79%	293	5	2020/03/31	6.0	2019/10/31	1.0	15.72%	1,653	1
2020年	12,707	13,043	11,713	12,113	¥1,598	-4.39%	-556	-2	2020/10/31	1.0	2020/11/30	2.0	-6.13%	-777	1
2021年	17,301	17,319	16,519	16,951	¥6,442	-1.89%	-326	-1			2021/10/31	1.0	-1.89%	-326	1
2022年	19,394	20,600	18,548	18,548	¥14,227	-4.48%	-869	-1	2022/12/31	3.0	2022/10/31	1.0	-4.48%	-869	1
2023年	23,411	23,715	22,722	22,940	¥26,085	-2.46%	-579	-2	2023/10/31	1.0	2023/11/30	2.0	-5.45%	-1,281	1

一口メモ

- 右表は米国の124年間のS&P500です。同様にDOWも2月・9月に下落が多い月のようです
- 米国株の格言で5月に売って9月まで待てがありますが、この数値を見ると正しいようです

行ラベル	P騰落率	P騰落額
1月	0.95%	3
2月	-0.27%	-0
3月	0.69%	6
4月	1.08%	5
5月	0.06%	3
6月	0.51%	3
7月	1.50%	10
8月	0.69%	-4
9月	-0.88%	-9
10月	0.40%	6
11月	0.96%	13
12月	1.28%	5

ES-S&P500 2023年度の騰落率のグラフ例

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
2019年 ~ 2024年
2019 2020 2021 2022 2023 2024
< >

WS	P指標M
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	2023
値フィルター	
並べ替え	

グラフで年間推移が直感的に把握できます

・P指標Mで1年分を表示。その情報をもとに毎月の騰落率の推移と年間を通じた累積騰落率を表示しました

P指標M ES-S&P500 YMD=M

行ラベル	P騰落率	累積
1月	2.71%	2.71%
2月	3.72%	6.53%
3月	-0.24%	6.28%
4月	2.62%	9.07%
5月	6.13%	15.75%
6月	8.57%	25.67%
7月	1.41%	27.44%
8月	2.33%	30.41%
9月	-2.46%	27.20%
10月	-3.06%	23.30%
11月	7.59%	32.66%
12月	1.48%	34.63%

一口メモ

年間の累積騰落率は加算でなく乗算で算出を
年間の累積騰落額は加算で算出が正解

P騰落額	累積
489	489
689	1,178
-46	1,132
503	1,635
1,205	2,840
1,789	4,629
320	4,949
535	5,484
-579	4,905
-702	4,203
1,688	5,891
355	6,246

年間の累計騰落率の算出をする場合

(a) 列の1月～12月の騰落率を加算するのは過ちです

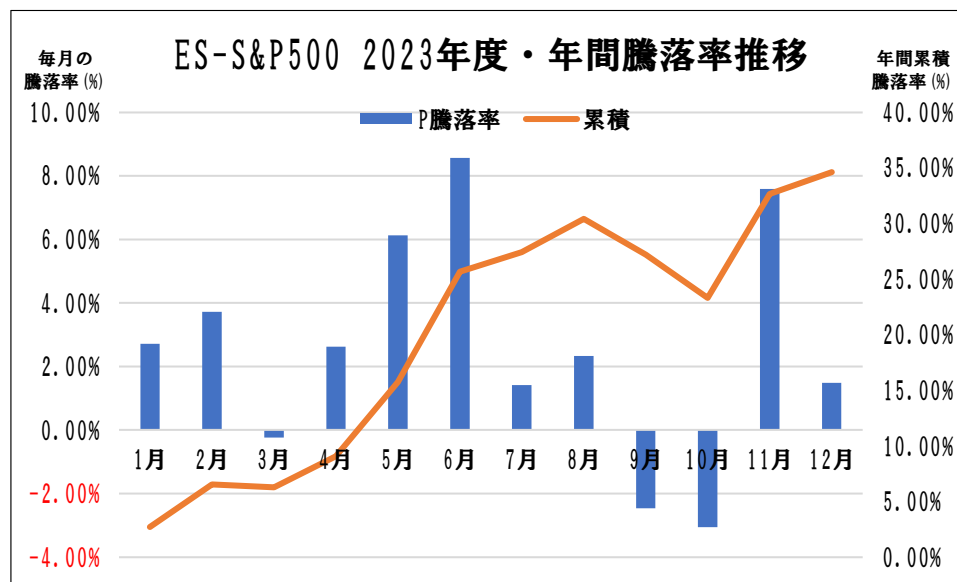
(a) の数値に1を加え $1.0271 \times 1.0372 \times 0.9976$ と12月まで乗算で算出します

1月～12月までを掛け合わせ最後の結果から-1を行うと年間の騰落率が得ます

(b) 累積の34.63%はYMD=Yの年間の騰落率と等しくなります

P指標M ES-S&P500 YMD=Y

行ラベル	P騰落率	P騰落額
12月		
2023年	34.63%	6,246



一口メモ

- ・上表はeMAXIS SLIM S&P500 2023年度の月毎の騰落率になります
- ・これら指標毎の平均的な騰落率を整備しておくというのの時期が買い時とか判断ができるようになります
- ・ご自分専用の指標整備をお勧めします

NISAつみたて枠と成長投資枠の騰落率比較？

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
2019年～2024年
2019 2020 2021 2022 2023 2024

WS	P指標M
スライサー	M ES-S&P500
タイムライン	2023年
値フィルター	
並べ替え	

投資する時期の見極めはとても大切です

- 毎月つみたてがよいのか一括購入がよいのか悩むことがあります。つみたてNISAで2種類、成長投資枠で3種類の基準価額の時で比較しました
- 下の2表のように基準価額(終値)が変動する時期は原則最安値の時に一括購入する方法が最も収益がよくなります。

行ラベル	つみたて①		つみたて②	
	月2.5%年34%上昇	口数	月-0.4%年-7%下落	口数
1月	18,000	22,222	18,000	22,222
2月	18,450	21,680	17,892	22,356
3月	18,911	21,151	17,785	22,491
4月	19,384	20,636	17,678	22,627
5月	19,869	20,132	17,572	22,764
6月	20,365	19,641	17,466	22,901
7月	20,874	19,162	17,362	23,039
8月	21,396	18,695	17,257	23,178
9月	21,931	18,239	17,154	23,318
10月	22,480	17,794	17,051	23,459
11月	23,042	17,360	16,949	23,601
12月	23,618	16,937	16,847	23,743
基準価額と口数	20,544	233,649	17,410	275,700

基準価額が上昇時に毎月つみたてする場合48万円で購入口数は233,649口

基準価額が下落時に毎月つみたてする場合48万円で購入口数は275,700口

成長投資①

基準価額が23,618円の時
に48万円で一括購入する
と口数は203,239口

成長投資②

基準価額が16,847円の時
に48万円で一括購入する
と口数は284,917口

成長投資③

基準価額が18,000円の時
に48万円で一括購入する
と口数は266,667口

	元金	基準価額	口数	終値	元利合計	収益	騰落率	順位
つみたて①	40,000	18,000～23,618	233,649	25,000	584,123	104,123	21.69%	4
つみたて②	x12か月	18,000～16,847	275,700		689,251	209,251	43.59%	2
成長投資①	480,000一括	23,618	203,239		508,097	28,097	5.85%	5
成長投資②		16,847	284,917		712,293	232,293	48.39%	1
成長投資③		18,000	266,667		666,667	186,667	38.89%	3

概要

これは投資できる金額が48万円あり、それを一年かけてつみたてする方法と成長投資枠のように一度で購入する方法とでどちらが得になるか比較した資料です

- つみたて投資枠①は騰貴した②は下落が継続した場合の比較です
- 成長投資枠①②③は異なる時期の基準価額で購入した比較です

最終的には最も多くの口数になったものが最も高収益となります。購入時の口数計算は左の計算式に、売却時の計算式は $\text{口数} \times \text{終値の基準価額} \div 10,000$ で算出します

騰落率の結果ですが、購入時の基準価額に大きく左右され 5.85%～48.39% と変動します

上表は終値(基準価額)が25,000円になった場合の想定ですが、成長投資②が最も収益が高く元利合計が 口数284,917x終値25,000÷10,000=元利合計712,293円、騰落率は48.39%と最高になります

購入時の口数の計算

- 購入時 $\text{口数} = \text{投資金額} \div \text{基準価額} \times 10,000$
- 成長投資②の例 $\text{口数} = 480,000 \div 16,847 \times 10,000 = 284,917$ 口

一口メモ

- 米国S&P500の124年間を見渡すと
41年間(3年に1回)は平均-14%の下落、83年間(3年に2回)は毎年平均+18%の騰貴となります
- 従って投資する時は3年に一度訪れる安値を狙うもよし、思い立った時に早めに一括購入し備えるもよし
- 高値時の一括購入が防止できればそこそこ収益を得ることができます

ES-S&P500 年間騰落率の一覧表示

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
2018年 ~ 2024年
2018 2019 2020 2021 2022 2023
< | >

WS	P指標M
スライサー	Y ES-S&P500
タイムライン	2018-2024 7年間
値フィルター	
並べ替え	

数年に及ぶ基準価額や騰落率が把握できます

- ・ eMAXIS SLIM S&P500は2018年に開始、毎年の騰落率や騰落額が一覧で見れます。この7年間の推移が一目で判断できます
- ・ 最終行の総計には平均値が表示されるので大まかな数値を把握するのに役立ちます
- ・ 7年間の内5年間は毎年平均+3.2%、下落した2年間は平均-6.6%程度となっています
- ・ 下落や暴落で終値が下がっても翌年には十分回復できるので安心できるファンドです

発生日	各年末の基準価額					対前年度の騰落率と騰落額			この年のP終値より下落した年月日とP日数L にその年数を表す		この年のP終値より騰貴した年月日とP日数H にその年数を表す				
行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
12月															
2018年	9,936	11,143	8,645	9,231	¥86	-7.10%	-705	-1			2019/12/31	1.0	-7.10%	-705	1
2019年	8,809	12,060	8,809	12,047	¥444	30.51%	2,816	3			2020/12/31	1.0	108.04%	9,973	1
2020年	11,873	13,359	8,432	13,288	¥2,289	10.30%	1,241				2021/12/31	1.0			1
2021年	13,339	19,204	13,152	19,204	¥9,488	44.52%	5,916				2022/12/31	1.0			1
2022年	19,291	20,600	16,876	18,035	¥15,980	-6.09%	-1,169	-1			2023/12/31	1.0	-6.09%	-1,169	1
2023年	17,690	24,575	17,690	24,281	¥29,988	34.63%	6,246	2			2024/12/31	1.0	62.67%	11,302	1
2024年	24,154	32,813	24,154	29,337	¥49,023	20.82%	5,056								1
総計	15,013	19,108	13,965	17,918	¥15,328	18.23%	2,772	1	2022/12/31	1.0	2022/08/31	1.2	39.38%	4,850	7

→ 最下段の総計は7年間の平均値

一口メモ

- ・ 米国S&P500もES-S&P500同様に高い収益の年と3~4年に一度下落が発生します
- ※ ES-S&P500は円建てのためドル/円為替レートの影響を受け米国のS&P500の騰落率と若干差が生じます

米国 S&P500指標例

行ラベル	P騰落率	P騰落額
12月		
2018年	-6.24%	-167
2019年	28.88%	724
2020年	16.26%	525
2021年	26.89%	1,010
2022年	-19.44%	-927
2023年	24.23%	930
2024年	8.73%	417

始値～終値の数値について

YMD

M
Q
W
Y
(空白)

指標

ES-S&P500
(空白)

日付け

2024
年

2021 2022 2023 2024 2025

WS	P指標D や P指標M
スライサー	D M Y ES-S&P500
タイムライン	2024
値フィルター	
並べ替え	

始値～終値の4列は

- 始値は一日の営業開始直後の基準価額、高値は一日で最も高くなった基準価額、安値は一日で最も安くなった基準価額、終値は営業時間終了時の基準価額です
- 月間や年間のデータは、始値は月初や年始の基準価額、終値は月末や年末の基準価額です。高値・安値はその期間に変動した上限・下限となります

P指標D ES-S&P500 YMD=D

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値
≡1月				
≡2024年				
2024/01/04	24,154	24,154	24,154	24,154
2024/01/05	24,342	24,342	24,342	24,342

eMAXIS SLIM S&P500は終値のみの提供のため始値～終値には同じ基準価額を記載されています

P指標M ES-S&P500 YMD=M

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値
≡1月	24,154	26,026	24,154	26,026
≡2月	25,486	27,433	25,486	27,391

P始値には月初の価額が、高値には月間で最も高い価額が、P安値には月間で最も安い価額が、終値は月末の基準価額が記載されています

P指標M ES-S&P500 YMD=Y

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値
≡12月				
≡2024年				
2024/12/31	24,154	32,813	24,154	29,337
総計	24,154	32,813	24,154	29,337

P始値には年始の価額が、高値には年間で最も高い価額が、P安値には年間で最も安い価額が、終値は年末の基準価額が記載されています

P指標D S&P500 (STOQ提供) YMD=D

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値
≡1月				
≡2024年				
2024/1/3	4,725	4,729	4,700	4,705
2024/01/04	4,697	4,727	4,688	4,689

STOQ提供の各種指標データはS&P500を含め日中の変動(始値/高値/安値/終値)まで提供しています。一日の変動の把握が行えます。

一口メモ

- NISAは一般に終値で清算されるためP終値に記載された基準価額が清算対象になります
- 日々の指標でP始値/P高値/P安値を参照する回数は多くはありません
- 証券会社がCSVとして公開している基準価額も終値だけで日中の変動情報はありません
- 日中変動までデータ提供してくれているものにSTOQの指標があります
- STOQ DJI/S&P500/NASDAQ/NASDAQ-100/N225/TOPIXやUSDJPY
- その日の動きも把握できるためにも貴重です

基準価額の回復にどの程度の期間を要した？

YMD

M
Q
W
Y
(空白)

指標

ES-S&P500
(空白)

日付け

2018年 ~ 2024年
2018 2019 2020 2021 2022 2023

WS	P指標D2 P指標M2
スライサー	D M Y ES-S&P500
タイムライン	2018-2024 7年間
値フィルター	トップテン→P日数H→上位→30
並べ替え	P日数H→降順

それを調べる列がP高値日とP日数Hです

- P指標Dの最初の列に表示された日付けの基準価額が回復し **超えた日付けがP高値日、それまでの日数がP日数H**です
- P指標Mの月間や年間の場合、P日数Hの列の数字は **月数や年数**を表示します

P指標D2 ES-S&P500 YMD=D

YMD=DのP日数Hは日数(営業日)

行ラベル	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K
2018/10/4	2019/10/29	256	0.79%	87
2022/9/13	2023/05/19	165		
2022/10/31	2023/05/19	134	3.58%	704

eMAXIS SLIM S&P500は最長が**256営業日**(期間では約1年相当)。米国トランプ政権の政策面の混乱と成長鈍化の不安材料が重なり回復まで長期化しました

P指標M2 ES-S&P500 YMD=M

YMD=MのP日数Hは月数

行ラベル	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K
2018/09/30	2019/07/31	10		
2022/10/31	2023/05/31	7	9.80%	1,817
2020/01/31	2020/08/31	7		

月間では左記同様の理由で2018年9月末の基準価額が回復できたのは**2019年7月末**で10カ月間要しました

P指標M2 ES-S&P500 YMD=Y

YMD=YのP日数Hは年数

行ラベル	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K
2021/12/31	2023/12/31	2		
2022/12/31	2023/12/31	1	-6.09%	-1,169
2019/12/31	2020/12/31	1	108.04%	9,973

新型コロナから景気回復は順調でしたがFRBがインフレ防止のため4%の高金利を発動、またウクライナ侵攻など不安材料が重なり2021年末の基準価額が回復するまでに**2年間**要しました

P指標M2 S&P500 (ST00Q提供) YMD=Y

YMD=YのP日数Hは年数

行ラベル	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K
1928/12/31	1952/12/31	24		
1929/12/31	1951/12/31	22	-71.70%	-17
1999/12/31	2013/12/31	14		

米国S&P500の124年の内、回復まで24年間要した暴落があります。1929年のウォール街の大暴落がそれで大変長く影響を与えました。日経平均では1990年のバブル崩壊で回復まで最長の34年間を記録しました

一口メモ

- 日経平均・ダウ・S&P500やNASDAQなどひとたび大暴落が発生すると過去事例では回復が10年単位に及ぶ事があります
- 長く続くのかそれとも3-4か月で回復するのか判断が必要です
- P高値日**や**P日数H**はその判断情報を提供してくれます
- 米国景気やFRBの施策、日本国の景気対策や日銀施策など総合的に判断しどの程度の期間で回復するか過去事例を参照しながら見極めを行ってください

P終値 (基準価額) のある範囲を調査する

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

指標
ES-S&P500
(空白)

日付け
2019年 ~ 2024年
2019 2020 2021 2022 2023 2024
< >

WS	P指標D2 P指標M2
スライサー	D M ES-S&P500
タイムライン	2018-2024 全期間
値フィルター	下記参照
並べ替え	年月日→昇順

今の基準価額は過去何回あった？を調べるのがこの操作です

- 下落した今日の基準価額は何年前の数値と同じ？、いずれ回復したら数年分の収益が一気に見込めそうとか判断できます

P指標D2 ES-S&P500 YMD=D
 値フィルター 指定の範囲内→P終値→9000から9300の間

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
2018/12/21	9,183	9,183	9,183	9,183	80.95	-2.61%	-246		2018/12/25	1	2018/12/28	4			1
2018/12/27	9,162	9,162	9,162	9,162	82.68	5.40%	469		2019/01/04	2	2018/12/28	1			1
2018/12/28	9,231	9,231	9,231	9,231	85.73	0.75%	69		2019/01/04	1	2019/01/08	3			1
2019/1/7	9,184	9,184	9,184	9,184	87.72	4.26%	375	3	2020/03/13	286	2019/01/08	1	6.19%	545	1
2019/1/8	9,272	9,272	9,272	9,272	91.02	0.96%	88		2020/03/13	285	2019/01/09	1			1
2020/3/18	9,242	9,242	9,242	9,242	589.4	6.59%	571	1	2020/03/19	1	2020/03/25	4	6.59%	571	1
2020/3/25	9,267	9,267	9,267	9,267	626.04	9.90%	835	3	2020/04/02	6	2020/03/26	1	15.74%	1,327	1
2020/4/2	9,048	9,048	9,048	9,048	652.43	-4.50%	-426				2020/04/03	1			1
2020/4/6	9,243	9,243	9,243	9,243	689.55	-0.72%	-67	-1			2020/04/07	1	-0.72%	-67	1
総計	82,832	82,832	82,832	82,832	2985.52	20.03%	1,668	6	2019/09/11	582	2019/07/23	17	27.79%	2,376	9

P指標M2 ES-S&P500 YMD=M
 値フィルター 指定より小さい→P終値→9900より小さい

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数	P安値日	P日数L	P高値日	P日数H	P騰落率K	P騰落額K	P件数
2018/12/31	10,468	10,580	8,645	9,231	85.73	-10.97%	-1,137	-1			2019/01/31	1	-10.97%	-1,137	1
2019/1/31	8,809	9,796	8,809	9,770	109.18	5.84%	539	4	2020/03/31	14	2019/02/28	1	19.04%	1,758	1
2020/03/31	10,825	11,452	8,432	9,738	694.62	-12.18%	-1,351				2020/04/30	1			1
総計	30,102	31,828	25,886	28,739	889.53	-17.31%	-1,949	3	2020/03/31	14	2019/07/11	3	8.08%	621	3

一口メモ

- 上表はeMAXIS SLIM S&P500の発売直後の初値である9,900円より下落した日を見つけるための調査例です
- 発生日付けを調査する事でこの日に起こった事象や理由など紐解くことができます

YMD

D
(空白)

指標

ES-S&P500
(空白)

日付枠

2019年～2024年
年

201920202021202220232024

◀
▶

WS	P指標D2
スライサー	D ES-S&P500
タイムライン	2023
値フィルター	値フィルター→指定の値に等しくない→0
並べ替え	P騰落日数→昇順

- ・ 騰落分布を整理しておくとなんが判明します
- ・ 日数頻度の把握から購入はもう2-3日待った方がよい、明日売却しようなど確率の高い判断ができます

行ラベル	P始値	P高	P騰落日数	P安値日	P件数
2018/12/17	9,854	9	-6	2018/1	1
2023/07/06	22,842	22	-6	2023/0	1
2022/12/14	19,219	19	-6	2022/1	1
集計	51,915	51	-18	2021/1	3

eMAXIS SLIM S&P500 騰落日数の分布

P騰落日数	発生頻度%
-6	0.50%
-5	2.00%
-4	1.50%
-3	5.50%
-2	10.50%
-1	28.50%
0	22.00%
1	10.50%
2	8.00%
3	4.00%
4	1.50%
5	1.50%
6	1.00%
7	1.00%
8	0.50%
9	0.50%
10	0.50%

①ピボットテーブルフィールド内の
落着日数を下段にある行の日付けの上にドラッグします

②ドラッグ後は次のように表示されます

③集計行が自動表示されない場合
ピボットテーブル→デザイン→小計に進み
→すべての小計を表示すると小計行が表示されます

④EXCELを下にスクロールすると-5日の集計、-4日の集計とすすみます。各日数のP件数の集計行を控えます。この数字が3なら3回発生している事を表しますので落着日数の一覧を完成させます。

P騰落日数	回数	比率
-6	3	0.41%
-5	15	2.05%
-4	15	2.05%
-3	42	5.75%
-2	80	10.94%
-1	211	28.86%
1	161	22.02%
2	79	10.81%
3	63	8.62%
4	28	3.83%
5	12	1.64%
6	10	1.37%
7	8	1.09%
8	2	0.27%
10	1	0.14%
13	1	0.14%
	731	100.00%

・騰落率で範囲指定で抽出すると前営業日の内下落日数は650日間、騰貴日数は775日間など把握ができます

全体の機能の紹介

証券会社や指標データ会社が提供するCSVやEXCELファイル

- このファイルは各証券会社が運用した結果です。日付/基準価額/出来高など記録されています
- 各社が公開するURLからダウンロードしこれをM030投資総合分析へ入力処理を行います

指標Dや指標M

- 証券会社のCSVは指標Dに変換・保存され閲覧や抽出が行えるようになります
- 指標Dは毎日の変化を記録した情報です
- 指標Mは閲覧や抽出を素早くするため日毎から月毎週毎に変換・保存したシートになります
- 指標Mであれば例えば124年に及ぶ年間推移を2頁で見たり抽出や判断が迅速に行えます

データの更新と頻度

- 初期に整備した指標はその後の変動を反映するため更新が必要になります
- 週に一度、月に一度、年に一度と更新サイクルはご利用者自身で決定します
- 大容量の指標を迅速に更新できるようM030投資総合分析は設計してあります

※参考までに米国DOWやS&P500は124年分あり、各指標毎に33,000レコードと量が多く5-6指標をまとめると指標Dは最大150,000~200,000レコードになります ※レコードとはEXCELの行数を意味します

管理

- 投資信託や株式の指標は一つのEXCELファイル(ブック)に最大10登録できます
- それを超える時はファイルを分け最大7ファイル・70指標までの投資管理が行えます

メニューA

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー A

用途 内容

1 分析 各指標情報の確認など

2 変換 * 証券会社提供のCSVを指標形式に変換

3 更新 * 騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新

4 更新 * 安値高値の継続日や日数の更新

5 更新 指標Dや指標Mを最新の原本へ更新

6 変換 * 指標の変換 (日一週・月・年)

7 更新 * 騰落率と騰落額の更新

8 対象 * 期間設定 From 1900/01/01 to 2100/12/31

9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

日々の作業

メニューB

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー B

用途 内容

1 管理 対象シートを選択

2 管理 特定シートをクリア

3 管理 シートの見出し行を設定

4 管理 シートの騰落日数・騰落K・騰落額Kクリア

5 管理 シートの安値高値クリア

6 管理 シートの分類や重複レコード確認

※ 2 は特定シートのみ、3 は見出し行のみ、4と5 は該当する列のみクリアされます。

7 複写 複写先をクリア後、指標シートの複写を行います

8 切替 他の指標ファイルを選択

9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

シート管理

メニューC

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー C

用途 内容

1 設定 初期化(下記2-4を実施)

2 設定 CSV保管先登録

3 設定 指標ファイルを登録

4 設定 指標を管理情報内へ登録

5 管理 特定指標を削除

6 抽出 * 特定指標の抽出

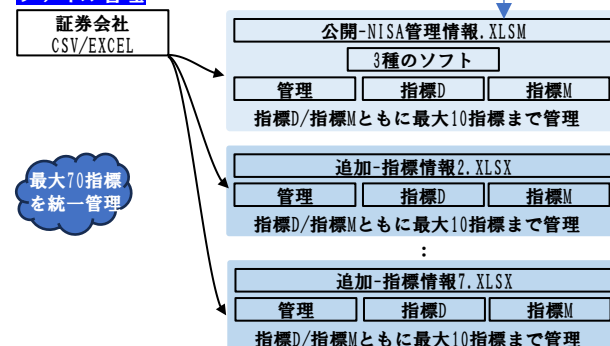
9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

初期設定

XLSMは一般のEXCELにマクロ機能を内蔵した時の名称

ファイル管理



管理情報	種名	指標	拡張子	桁形式
②MAXIS 半導体	E-SEMI	1	1	
③MUFG ベイリー・ギフォード	M-BAIL	1	2	
⑥トヨタ自動車	TOYOTA	1	3	
⑦デスラーUS	TSLA	1	4	
⑧フィデリティUSハイイールド	F-USHE	2	5	
⑨三菱UFJ 純金	M-GOLD	1	6	
⑩ダイワ US-REIT	D-USREIT	1	7	

M020A	公開-NISA管理情報.XLSM			
	20301231-投資指標一覧.XLSX			
	20304231-投資案件一覧.XLSX	8	9	10
	20240622-試験.XLSX			

メニューは3分割され

- メニューA 日々の作業指標Mの作成や更新作業
- メニューB シート管理
- メニューC 初期設定や指標の削除や抽出など

の機能があります。

以下、MENU A1に記したものはメニューA 1 分析*各種指標指標情報の確認をと略して記載します

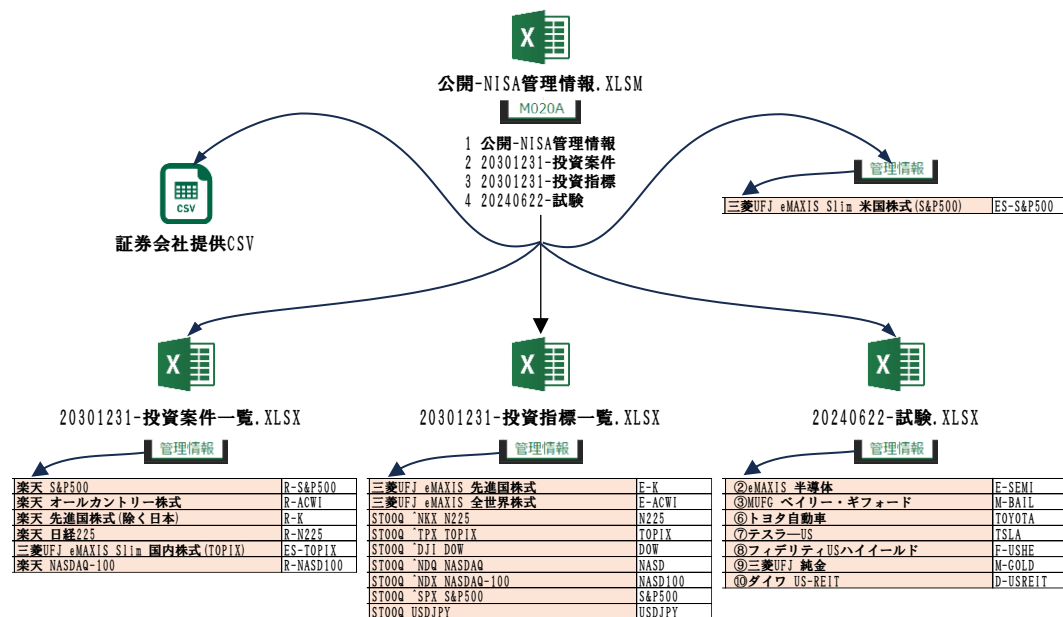
使用するファイルのPATH FN WS など

証券会社提供のCSVやEXCELファイルの保管場所の設定

- インターネットを経由し株価や基準価額のCSVをダウンロードする際、ファイル保管場所は一般に「ダウンロード」に行われます
- はじめにの投資分析を押すとソフト(投資総合分析)が起動します
- MENU C2を実行するとExploreが開くのでDownload先を開くので登録します
- 設定を完了するとCSV変換は次回からこのパスで行われようになります

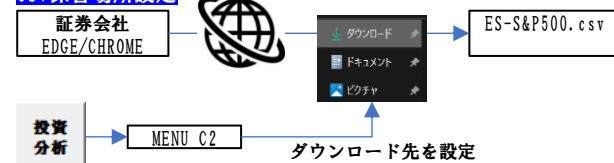
公開-NISA管理情報.XLSMの保管場所の設定

- このファイルには投資分析のためのソフトとeMAXIS SLIM S&P500の指標データが記録されていますが、残り9指標を追加登録できます
- 1ファイルに指標は最大10まで登録可能。それを超える場合はEXCELファイルを追加登録します
- MENU C3で追加のEXCELファイルの登録を行います。M020Aシートの行18~24に情報記録されます
- 登録後は次回の起動から右下図のように指標ファイルの選択画面が表示されます
- 番号を入力しどの指標ファイルの処理を行うか指定します
- MENU C8で他の指標ファイルを指定すると指定に基づいたファイルで処理を続けます

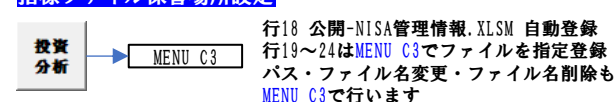


以下、この取説では パス(ドライブとフォルダー名)はPATH、ファイル名はFN、ワークシートはWSと表記します

CSV保管場所設定



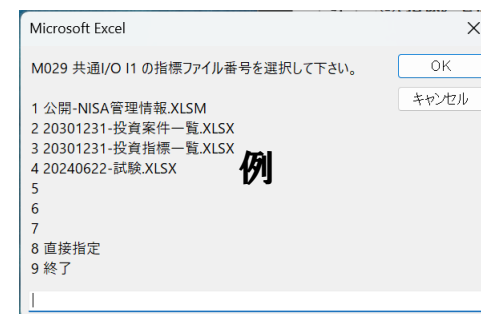
指標ファイル保管場所設定



メニューC



複数指標ファイル登録後の起動メニューC



WS (ワークシート) の用途や処理時間概算

公開-NISA管理情報. XLSMには多くのシートが記録されています

- ・各シートの用途は右表のようになります
- ・作成や更新の処理流れにそったシートの役割は下記のようになります
- ・具体的な操作は次頁以降を参照ください

指標D新規作成の実行例

- ・MENU A2で証券会社提供CSVをCSV変換に作成します。期間は1900/1/1～2100/12/31を指定(全てを対象)
- ・MENU A3とMENU A4で騰落日数や安値高値の計算が行いCSV変換を完成します
- ・MENU B7で完成したCSV変換の指標データを指標Dに複写し作業が完了します

指標D更新の実行例

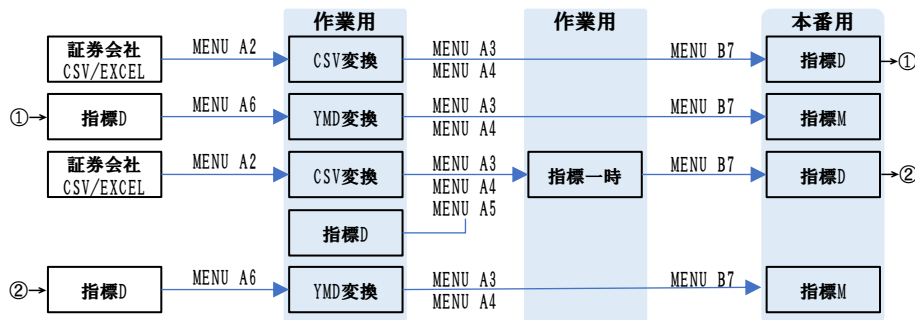
- ・MENU A2で対象範囲を2024/8/1～2024/8/31と指定するとこの1ヶ月のデータが抽出され更新CSV変換に作成
- ・MENU A5で指標Dの更新を行います。12にCSV変換、13に指標Dを、01に指標一時を指定します
- ・MENU B7で指標一時を指標Dに複写する事で更新作業が完了します

指標D作成

指標M作成

指標D更新

指標M更新



※ 作業用WSは指標D/指標M作成後は不要になるためMENU B2でクリアしてください

一口メモ

- ・米国S&P500・124年分 33,000件の場合指標D～指標Mの作成完了まで下表のように合計約1.5分かかります
- ・三菱UFJのeMAXIM SLIM S&P500は約7年分 1,500件で、その量は約1/20程度です
- ・従って約10秒程で指標Dと指標Mの作成を終えることができます

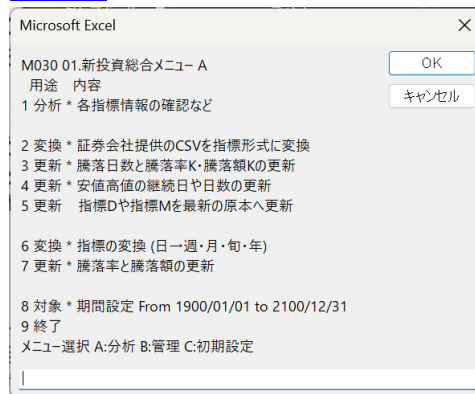
分類	メニュー	作業内容	対象期間	件数	処理時間
指標D作成	MENU A2	S&P500 CSV→CSV変換	1900/1/1-2024/08/31	124年分 33,600件	8秒
	MENU A3	騰落日数算出 (日)			2秒
	MENU A4	安値高値算出 (日)			10秒
	MENU B7	CSV変換→指標Dへ複写			5秒
指標M作成	MENU A6	指標D→YMD変換作成 (日→週月旬年)	1900/1/1-2024/08/31	124年分 8,600件 週 6,485 月 1,492 年 499 日 125	10秒
	MENU A3	週月旬年の騰落日数算出			3秒
	MENU A4	週月旬年の安値高値算出			10秒
	MENU B7	YMD変換→指標Mへ複写			2秒

シート見出し

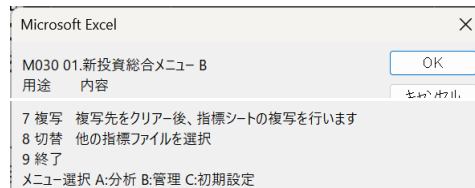
はじめに M020A | 管理情報 | NISA

シート名	分類	概要
指標D	本番用	変換後の日々の複数指標を収容 (ES-S&P500など)
指標M	本番用	指標Dから月旬週年単位の複数指標を収容
指標一時	作業用	指標D/指標Mの更新作業用
CSV変換	作業用	証券会社のCSVから指標Dを作る際の作業用
YMD変換	作業用	指標Dから指標Mへ変換する際の作業用
WORK	作業用	一時保管など作業用
はじめに	ソフト	簡易取説と投資分析の起動
M020A	管理	複数EXCELファイルの統一的管理
管理情報	管理	一つの指標ファイルの指標を管理
NISA	設定	使う指標や追加したい株式を登録する
P指標D	閲覧	指標Dをスライサーやタイムラインで選択表示
P指標M	閲覧	同上指標M版
P指標D2	抽出	指標Dのトップ30や範囲を指定して抽出表示
P指標M2	抽出	同上指標M版

メニューA



メニューB



指標の登録設定

利用する指標を確認する(初期設定)

- NISAワークシート(以下**NISA台帳**と呼ぶ)には金融庁で公開されたつみたてNISA・2024年版が既に登録済みです
- NISA台帳の内、登録したい該当ファンドの列H(登録は)にYを記入①
- NISA台帳のすぐ左の列G(DL)をクリックすればブラウザが開きCSVのダウンロードが行えます②
- 保存するファイル名は列I(指標)の名前と同じにしてください
→ 例 D194クリック→ 保存ファイル名は **ES-S&P500**.CSV で保存する③
- 次に「はじめに」の**投資分析ボタン**をクリックし投資総合分析ソフトを起動します

NISA台帳

運用会社2	ファンド名称3	H132	D192	登録は	指標
三菱UFJ	eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	H132	D192		ES-ACWI
三菱UFJ	eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	H133	D193		ES-RSP
三菱UFJ	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	H134	D194	Y	ES-S&P500
三菱UFJ	eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	H135	D195		ES-TOPIX
三菱UFJ	eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	H136	D196		ES-AQWIS

②クリック

①Y記入

③保存

CSVは列Hの指標名で保存します。ファイル名を誤るとMENU A2 CSV変換作業の際に見つからないとメッセージが表示されます

利用する指標を管理情報へ反映する(初期設定)

- MENU C4でNISA台帳でYが指定された指標が管理情報へコピー・反映されます
追加反映したい指標が他にあればYをいれて再度MENU C4を実行します
 - MENU 9で一旦終了し、管理情報の内容が反映されているか確認します
- ※ MENU C4は運用開始後に何度実行しても指標D/指標Mの記録データに影響を与える事はありません

投資総合分析の開始

はじめに

投資
分析

投資総合分析が起動します

メニューC4

- 2 設定 CSV保管先登録
- 3 設定 指標ファイルを登録
- 4 設定 指標を管理情報内へ登録

管理情報 行17~26

管理情報		CSV変換の対象日を設定										M028 追加更新	
b) M030 指標情報		4	5	6	7	8	9	10	11	12			
No	ファンド名	指標	拡張子	桁形式	NISA	ADD	END	FROM	TO	拡張子			
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	ES-S&P500	1	1	D194	1900/01/02	2100/12/31			1:CSV			
2										2:XLSX			
3													
4													
5		管理情報には											
6		最大10指標(ファンド)の登録が行えます											
7										CSV変換時機能			
8										D1:日付変換 文字			
9										D2:日付変換 Dec			
10										や年月日含有文字			

管理情報には
最大10指標(ファンド)の登録が行えます

CSV変換時機能
D1:日付変換 文字
D2:日付変換 Dec
や年月日含有文字

NISA台帳に指標がない時は

- 応用編の新たにNISA台帳へ登録するを行ってください

指標Dの作成

CSVファイルの保存先の登録方法 (事前作業)

- MENU C2証券会社提供のCSVファイルの保管場所をMENU C2で登録して下さい

CSVファイルから指標Dを作成

証券会社提供のCSVは各社でフォーマットが異なるため統一した指標D形式へ変換します

CSV変換は最高10ファイルをまとめて行えます

初めての作業や指標再作成で実施する作業です

- MENU A2 01:CSV変換 を指定し実行すると証券会社提供のCSVがCSV変換へ記録されます
※この時同時に提供CSVファイルにはない騰落率/騰落額が算出され記録されます

騰落日数算出

- MENU A3 01:CSV変換 で騰落日数の算出を行います
騰落日数の算出は下落が2日間続けば-2と表示、騰貴が7日間続けば7と表示します
騰落率Kや騰落額Kにはその騰落日数の期間中の合計値が算出されます

安値高値の算出

- MENU A4 01:CSV変換 で高値安値の算出を行います
安値日は当日の基準価額(終値)より安値になった日付けと日数Lにその間の営業日数を算出
高値日は当日の基準価額(終値)より高値になった日付けと日数Hにその間の営業日数を算出
※ 高値日/日数Hで基準価額が回復するまでに何日かかったかそれがいつかを知る事ができます

引き続き次頁に記載した MENU B7 複写で指標Dへのコピーを実施します

ES-S&P500 CSV→CSV変換

	A	B	C	D	E
1	eMAXIS Slim	米国株式 (S&P500)			
2	基準日	基準価額 (円)	基準価額 (分配金再投資・円)	分配金 (税引前 円)	純資産総額 (億円)
3	2018/7/3	10038	10038		0.01
4	2018/7/4	9936	9936		0.01
5	2018/7/5	9942	9942		1.05
6	2018/7/6	10057	10057		1.06

左は三菱UFJが提供するeMAXIS SLIM S&P500のCSVです。指標Dでは次の列に配置されます

CSV	指標D
・基準日	→日付け
・基準価額	→始値/高値/安値/終値
・基準価額 (分配金再投資)	
・分配金	
・総資産額 (億円)	→出来高

補足

- ・CSV内の基準価額に2つ記載があります(分配金/分配金再投資)。ES-S&P500の場合は同じ金額が記載され分配金型はない事を表しています(目論見書参照)
- ・三菱UFJでは日中の始値/高値/安値が未公開で終値の基準価額のみ提供しています。従って指標Dには終値を始値へ安値にも複写し、YMD変換やピボットテーブルでの検索・閲覧・抽出に利用します
- ・総資産高はCSVは0.01や1.05と記載があります。指標Dでは小数点以下が表示されていませんが、小数点以下のデータも複写していますので、この列を小数点2桁で設定すると表示され0.01や1.05と表示されるようになります

投資総合分析の開始

はじめに

投資分析

Cを押しメニュー画面Cが表示されたら次に番号を選択し実行します

メニューC

- 2 設定 CSV保管先登録
- 3 設定 指標ファイルを登録
- 4 設定 指標を管理情報内へ登録

メニューA

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー A

用途 内容

1 分析 * 各指標情報の確認など

2 変換 * 証券会社提供のCSVを指標形式に変換

3 更新 * 騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新

4 更新 * 安値高値の継続日や日数の更新

5 更新 指標Dや指標Mを最新の原本へ更新

6 変換 * 指標の変換 (日・週・月・年)

7 更新 * 騰落率と騰落額の更新

8 対象 * 期間設定 From 1900/01/01 to 2100/12/31

9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

OK

キャンセル

指標D

YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
D	ES-S&P500	2018/07/04	9,936	9,936	9,936	9,936	¥0	-1.02%	-102	-1	2018/10/25	77	2018/07/05	1	-1.02%	-102
D	ES-S&P500	2018/07/05	9,942	9,942	9,942	9,942	¥1	0.06%	6	7	2018/10/25	76	2018/07/06	1	5.42%	539
D	ES-S&P500	2018/07/06	10,057	10,057	10,057	10,057	¥1	1.16%	115		2018/10/25	75	2018/07/09	1		
D	ES-S&P500	2018/07/09	10,121	10,121	10,121	10,121	¥2	0.64%	64		2018/10/25	74	2018/07/10	1		

基本編

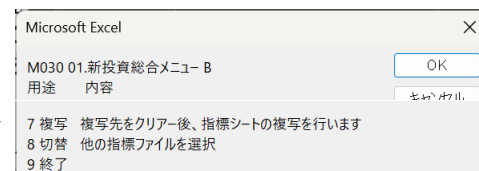
メニュー B7. 複写でCSV変換を指標Dへコピー

MENU A2～A4で指標Dに必要な情報の整備は完了しました。あとはCSV変換の内容を指標Dにコピーすれば完成します

CSV変換を指標Dにコピーする

- MENU B7で I2:CSV変換 01:指標D を指定し実行すると指標Dへコピーされます。この作業実施後にピボットテーブルで各種の閲覧や抽出表示の準備が整います
- コピーする際に一般的にはコピー先の指標Dをクリアーします。Nを指定すると以前の指標を残したまま指標が追加されます

メニュー B

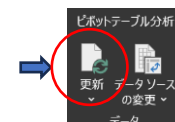


コピー終了後にはピボットテーブルの更新を行う事

- ピボットテーブルは指標Dが更新されても自動でその内容は反映されません
- P指標DとP指標D2のピボットテーブルの更新を行うと、指標Dとピボットテーブルが同期して閲覧・調査や抽出などに反映されます

ピボット更新

P指標D P指標M P指標D2 P指標M2



ピボットテーブル分析が表示されない時は表示された行や列をクリックするとピボットテーブル分析が表示されます

ピボットテーブルの種類は

標準で下記の4種類を準備しています。ピボットテーブルを追加し自分専用のデータ分析を行うこともできます

- P指標D 指標Dが対象。日々の基準価額や騰落率や騰落額などの一覧表示や調査に
- P指標M 指標Mが対象。月間週年間の基準価額や騰落率や騰落額の一覧表示や調査に
- P指標D2 指標Dが対象。トップ30や指定列の範囲指定など抽出表示に
- P指標M2 指標Mが対象。同上で月間週年間の抽出表示に

行ラベル

1月

2019年 9,516

2020年 12,205

2021年 13,556

指標D→ P指標D P指標D2

P指標D

月別→年別→年月日表示例

行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数
1月	10,861	10,861	10,861	10,861	¥296	0.18%	17	
2月	11,212	11,212	11,212	11,212	¥343	-0.08%	-13	
3月	10,113	10,113	10,113	10,113	¥377	-0.19%	-30	
4月	10,465	10,465	10,465	10,465	¥482	0.37%	36	
5月	10,616	10,616	10,616	10,616	¥550	-0.07%	-8	
6月	10,967	10,967	10,967	10,967	¥672	0.12%	11	
7月								
2018年								
2018/7/4	9,936	9,936	9,936	9,936	¥0	-1.02%	-102	
2018/7/5	9,942	9,942	9,942	9,942	¥1	0.06%	6	
2018/7/6	10,057	10,057	10,057	10,057	¥1	1.16%	115	
2018/7/9	10,121	10,121	10,121	10,121	¥2	0.64%	64	
2018/7/10	10,265	10,265	10,265	10,265	¥2	1.42%	144	
2018/7/11	10,288	10,288	10,288	10,288	¥2	0.22%	23	
2018/7/12	10,330	10,330	10,330	10,330	¥3	0.41%	42	

P指標D2

P騰落率で下位30位の抽出・分類・表示例
※騰落額と終値を自由に選択し抽出できます

指標分析	指標D	TOP30の表示	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数
行ラベル										
2020/03/17	8,671	8,671	8,671	8,671	8,671	540.56	-12.14%	-1,198	-1	
2020/3/13	8,885	8,885	8,885	8,885	8,885	542.2	-8.98%	-877		
2020/3/10	9,657	9,657	9,657	9,657	9,657	566.29	-6.42%	-662		
2020/6/12	10,949	10,949	10,949	10,949	10,949	1054.17	-6.15%	-717		
2018/12/25	8,645	8,645	8,645	8,645	8,645	77.06	-5.86%	-538		
2020/3/9	10,319	10,319	10,319	10,319	10,319	598.31	-5.64%	-617		
2020/2/25	12,171	12,171	12,171	12,171	12,171	589.23	-5.37%	-690	-5	
2020/2/28	11,089	11,089	11,089	11,089	11,089	565.52	-5.18%	-606		
2020/03/12	9,762	9,762	9,762	9,762	9,762	587.29	-5.10%	-525	-2	
2022/05/19	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	11365.37	-4.68%	-866	-3	
2019/1/4	8,809	8,809	8,809	8,809	8,809	83.1	-4.57%	-422	-1	

指標Mの作成

指標Dから指標M作成時の流れ (事前作業)

- 指標Mの作成前に指標Dを事前に作成しておいてください

指標DをYMD変換

- MENU A6 I2:指標D 01:YMD変換 と指定し作業を実行します
変換する際に通常はYMD変換で**クリアー**を選択します。ここで**N**を指定すればYMD変換の内容を残したまま追加モードで作成する事が可能です
- M030 15では日→週など変換作業を4種類(1. 2. 3. 4.)を全て実施します
その結果、YMD変換には週月旬年間に変換された指標が作成されます
- M030 15では月→年や旬→月の変換も日からの変換と同じ結果になります
扱うデータ量が日に比較して1/20になるため処理時間の短縮を図れます
※既に日から変換を実施していれば月からの変換作業は不要です

騰落日数算出

- MENU A3 01:YMD変換 を指定し騰落日数の算出を行います
変換騰落日数の算出は下落が2回続けば-2、騰貴が7回続けば7と表示します。**騰落率K**と**騰落額K**は期間中の騰落率と騰落額の**合計値**を算出します
※ 件数の数値は月/週/旬/年間に順じます。例:-2は2ヶ月や2年間連続を意味します

安値高値の算出

- MENU A4 01:YMD変換 を指定し実行します。高値安値の算出を行います
安値日は日付けの終値より安値になった日付けと**日数L**にはその間の期間を表示
高値日は日付けの終値より高値になった日付けと**日数H**にはその間の期間を表示
日数Hをみれば日付けの終値・基準価額が回復するまでの期間を知る事ができます

引き続き次頁に記載した MENU B7 複写で指標Mへのコピーを実施します

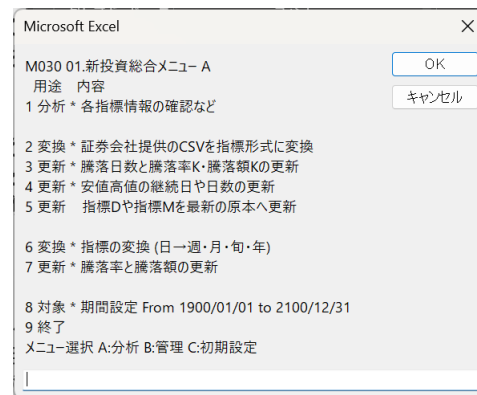
YMD変換の締日や対象期間は

変換	締日	対象期間
・月	月末	月初～月末
・週	毎週末	月曜～日曜
・旬	月末	3/6/9/12月 (3ヶ月毎)
・年	年末	年始～年末

YMD変換

MENU A6で変換								MENU A7で算出		MENU A3で算出		MENU A4で算出				MENU A3で算出	
YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K	
M	ES-S&P50	2018/07/31	9,936	10,541	9,936	10,330	¥9	3.97%	394	3	2018/10/31	3	2018/08/31	1	10.87%	1,080	
Q	ES-S&P50	2018/09/30	9,936	11,016	9,936	11,016	¥36	10.87%	1,080	1	2018/12/31	1	2019/12/31	5	10.87%	1,080	
W	ES-S&P50	2018/07/08	9,936	10,057	9,936	10,057	¥1	1.22%	121	3	2018/11/25	20	2018/07/15	1	5.54%	550	
Y	ES-S&P50	2018/12/31	9,936	11,143	8,645	9,231	¥86	-7.10%	-705	-1			2019/12/31	1	-7.10%	-705	

メニューA



M030 15



メニュー B7. 複写でYMD変換を指標Mへコピー

指標Mの入力となるYMD変換の準備ができた後はYMD変換の内容を指標Mにコピーすれば完了します

YMD変換を指標Mにコピーする

- MENU B7で I2:YMD変換 01:指標M を指定し実行すると指標Mへコピーされます。この作業を実施すればピボットテーブルから各種の閲覧や抽出などの表示を行う準備が整います
- コピーする際は、一般にはコピー先の指標Dをクリアーします。Nを指定すると以前の指標を残したまま指標が追加されます

コピー終了後にピボットテーブルの更新を行う事

- ピボットテーブルは指標Mが更新されても自動でその内容が反映されません
- P指標MとP指標M2のピボットテーブルの更新を行うと、ピボットテーブルが指標Mと同期し更新されて閲覧・調査や抽出などに反映されます

ピボットテーブルの種類は

標準で下記の4種類を準備しています。ピボットテーブルを追加し自分専用のデータ分析を行うこともできます

- P指標D 指標Dが対象。日々の基準価額や騰落率や騰落額などの一覧表示や調査
- P指標M 指標Mが対象。月間週年間の基準価額や騰落率や騰落額の一覧表示や調査
- P指標D2 指標Dが対象。トップ30や指定列の範囲指定など抽出と表示
- P指標M2 指標Mが対象。同上で月間週年間で

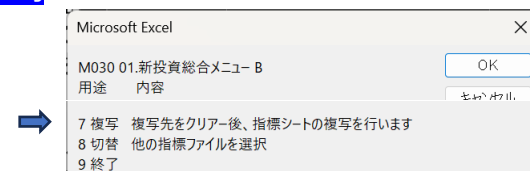
指標D→ P指標D P指標D2

P指標M

下記は2023年度の年間推移例、総計は平均値

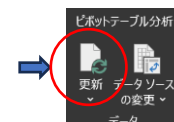
行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数
1月	17,690	18,714	17,690	18,524	¥17,058	2.71%	489	2
2月	18,714	19,682	18,706	19,213	¥18,163	3.72%	689	
3月	19,167	19,511	18,190	19,167	¥18,757	-0.24%	-46	-1
4月	19,388	19,874	19,021	19,670	¥19,593	2.62%	503	5
5月	20,234	21,023	19,695	20,875	¥21,127	6.13%	1,205	
6月	20,666	22,664	20,666	22,664	¥23,557	8.57%	1,789	
7月	22,867	22,984	22,061	22,984	¥24,610	1.41%	320	
8月	23,260	23,519	22,582	23,519	¥25,939	2.33%	535	
9月	23,411	23,715	22,722	22,940	¥26,085	-2.46%	-579	-2
10月	22,911	23,389	22,025	22,238	¥26,122	-3.06%	-702	
11月	22,677	24,370	22,677	23,926	¥28,778	7.59%	1,688	8
12月	24,155	24,575	23,497	24,281	¥29,988	1.48%	355	
総計	21,262	22,002	20,794	21,667	¥23,315	2.57%	521	2

メニュー B



ピボット更新

P指標D P指標M P指標D2 P指標M2



ピボットテーブル分析が表示されない時は表示された行や列をクリックするとピボットテーブル分析が表示されます

行ラベル	P始値
1月	9,516
2019年	12,205
2020年	13,556
2021年	

P指標M2

月間のP騰落額で下位30位の抽出・分類・表示例
※騰落額と終値を自由に選択し抽出できます

a) 指標分析 指標M TOP30の表示								
行ラベル	P始値	P高値	P安値	P終値	P出来高	P騰落率	P騰落額	P騰落日数
2024/07/31	31,693	32,813	29,851	29,851	49821.28	-6.10%	-1,938	-2
2022/01/31	19,291	19,408	17,288	17,837	9376.31	-7.12%	-1,367	-2
2020/03/31	10,825	11,452	8,432	9,738	694.62	-12.18%	-1,351	
2022/12/31	19,728	19,728	17,777	18,035	15980.17	-6.94%	-1,345	
2018/12/31	10,468	10,580	8,645	9,231	85.73	-10.97%	-1,137	-1
2020/02/29	11,892	12,861	11,089	11,089	565.52	-8.87%	-1,079	-2
2022/11/30	20,283	20,283	19,335	19,380	16301.54	-4.84%	-985	-2
2018/10/31	11,051	11,143	9,898	10,121	60.83	-8.12%	-895	-1
2022/09/30	19,394	20,600	18,548	18,548	14226.8	-4.48%	-869	-1
2022/04/30	19,347	20,191	18,636	18,851	11600.12	-4.23%	-832	-3
2019/05/31	10,900	10,900	10,259	10,259	184.47	-6.64%	-730	-1
2023/10/31	22,911	23,389	22,025	22,238	26121.6	-3.06%	-702	
総計	207,783	213,348	191,783	195,178	145019	-83.54%	-13,230	-15

日常の更新作業

指標D/指標Mの運用を開始後も

- 指標を整備した後もそれで終わりではなく更新する作業が発生します。毎日更新したい、月に一度でよい、年に一度で十分など投資目的や用途に応じ更新頻度は変化します。このシステムは1900/1/1～2100/12/31の期間であればどんな更新にも対応できます

付属のES-S&P500

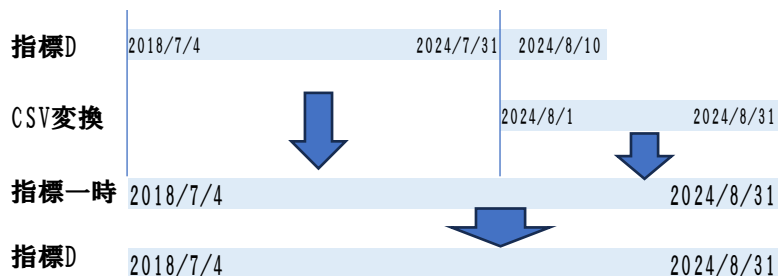
- 下の概念図は指標D/指標MともにES-S&P500が起算日～2024/8/10まで記録されている前提で、更新分は8月分の月初～月末までの1ヶ月分をまとめて更新しようとした場合の流れになります

指標D更新の概要

- 管理情報 更新期間を指定 開始日→2024/8/1 終了日→2024/8/31
- MENU A2 01:CSV変換 を指定するとCSV変換にこの期間の更新データのみ作成される
- MENU A3/MENU A4 01:CSV変換 を実行し騰落日数や騰落率K/騰落額Kを算出
- MENU A5 12:CSV変換 13:指標D 01:指標一時 と指定し実行。重なる期間のデータのみ更新され全体が指標一時に保存される

次に指標一時から指標Dへ複写

- MENU B7 12:指標一時 01:指標D を指定し実行すれば指標Dに最新データが複写
- 更新後には各ピボットテーブルの更新を行い更新情報の反映を行います



- 起算日～2024/7/31までの指標Dはそのまま指標一時に複写されます
- この時、指標Dの8/1以降のデータは複写から除外
- 更新対象のCSV変換の内容・8月分全体が指標一時に追加複写されます
- 出来上がった指標一時を指標Dに複写すると更新作業完了になります

指標M再作成の概要 (推奨案) 一口メモ参照

- 管理情報 この作業は開始日/終了日の情報は不要です
- MENU A6 12:指標D 01:YMD変換 を指定し実行。最新指標D全体からYMD変換が作成します。 ※ 指標Dは最新にしておくこと
- MENU A3/MENU A4 01:YMD変換 を実行し騰落日数や騰落率K/騰落額Kの算出

次にYMD変換から指標Mへ複写

- MENU B7 12:YMD変換 01:指標M を指定し実行。指標Mには最新データに更新されます
- 指標M更新後には各ピボットテーブルの更新を行い更新情報の反映を行います



指標M更新 (代替案)

- ※指標Dの更新方法と同じように指標一時を利用する方式も選択できます
 - MENU A6 12:CSV変換 (指標D更新用) 01:YMD変換 (1ヶ月分が対象で作成される)
 - MENU A3/A4 01:YMD変換 を指定。騰落日数や騰落率K/騰落額Kを算出
 - MENU A5 12:YMD変換 12:指標M 01:指標一時 を指定し更新を行う
 - MENU B7 12:指標一時 01:指標M で複写
- 代替案も推奨案も同じ処理が行えます。指標Mはデータ量が少ないため処理時間にほとんど変化がないため上の推奨案で実施する事をお勧めします

一口メモ

更新作業と再作成の方法で指標Dや指標Mの内部表現で何が変わるかご紹介しておきます

- 日経平均 (N225) で1989/12/29バブル崩壊直前に最高値をつけた終値は¥38,916円。この終値は2024/2/22の¥39,099円になるまで超えることがありませんでした
- 本来更新作業で古い日付けの1989/12/29の列にP高値:2024/2/22 P日数H:8383日間が反映されるべきですが、更新作業では高速性や時間短縮のため更新日付けより前のデータ更新は行わない仕様です。そのため更新後もP高値/P日数Hは空白のままになっています。つまり更新作業ではデータ連続性の精度が一部欠けたものになってしまいます
- この連続性/精度を保証するため次の①②のどちらかを行う方法があります①更新作業実施後に再度MENU A3/A4を実施 ②毎回 指標D/指標Mの再作成を実施する
- 精度第一優先なら毎回再作成を、高速性/時間短縮なら更新作業を選択します。更新の場合も、その後MENU A3/A4を余裕のある時に実施すれば同じ精度や結果となります

指標Dの更新 (例: 1ヶ月分)

指標Dの更新は次の2つが選べます
※最終結果や精度維持に差は生じません

毎回指標Dを再作成する (推奨案)

この方法は更新せずに**指標Dを作り直す**方法です。さすがに124年分あるDOW/S&P500は時間短縮のため下記の**更新手順をお勧め**しますが、NISA枠の投資案件は設定来の期間が2~7年程度と短く毎回再作成しても処理時間は気になりません。データ連続性の精度維持のためにはこの方法を推奨します

- 証券会社のURLから**最新版CSVファイル**を**ダウンロード**
- 管理情報のADDが1900/1/1にENDが2100/12/31になっている事を確認
CSVファイルが見つからない時はMENU C2でCSVファイル保管先の確認を行って下さい
- MENU A3 01:CSV変換 騰落日数算出
- MENU A4 01:CSV変換 高値安値算出
- MENU B7 12:CSV変換 01:指標Dへ複写
- ピボットテーブル4種の**更新**を実施し情報反映を行って下さい
- 使用した**CSV変換**はこれ以降は不要のためMENU B2 特定シートクリアで消去します

指標Dを随時更新する手順 (代替案)

1ファイルに300,000件もあるファイルの場合、推奨案よりも処理時間が短縮できます

- 証券会社のURLから**最新版CSVファイル**を**ダウンロード**
- 管理情報のADDを2024/8/1にENDを2024/8/31 など更新対象期間を設定
この指定でADD~ENDの期間内のCSVファイルのみが抽出されます
- MENU A2 1N:証券会社提供CSVファイル 01:CSV変換へ保存
実行時にADD/ENDの対象日時が表示されます
CSVファイルが見つからない時はMENU C2でCSVファイル保管先の確認を行って下さい
- MENU A3 01:CSV変換 騰落日数算出
- MENU A4 01:CSV変換 高値安値算出
- MENU A5 12:CSV変換 13:指標D 01:指標一時へ出力
- MENU B7 12:指標一時 01:指標Dへ複写
- ピボットテーブル4種の**更新**を実施し情報反映を行って下さい
- 使用した**CSV変換**はこれ以降は不要のためMENU B2 特定シートクリアで消去します
- 更新10回を目途にMENU A3/A4を実施し連続性の精度維持を図ってください

データ整合性に関するヒント

指標Dの更新で例えば2024年8月の1ヶ月分を実施した時

- 元の指標/更新データともに**基準価額4種/出来高/騰落率/騰落額**など**当日内の情報は全て正確**に反映されます
- 更新日以前のデータの**騰落率K/騰落額K/高値日/安値日**は変更されず複写されるため、更新データに起因する情報が反映されない事があります (例: N225 1989/12/29バブル崩壊後の2024/2月回復など)。そのため指標Dは部分的に連続性の精度が欠如する事があります
- 更新を10回程度行ったら指標DをMENU B4/B5で騰落額K~安値日の列をクリアした上で、続けてMENU A3/A4を行い過去から最新までの連続性の維持のため再計算して下さい
- MENU B4/B5/A3/A4を実行する事で再作成と同じ結果になりますのでご安心下さい

管理情報

管理情報

b) M030 指標情報		4	5	9	10
No	ファンド名	指標		ADD	END
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	ES-S&P500		2024/08/01	2024/08/31
2					

再作成時は
1990/1/1 2100/12/31のままで
更新時は範囲を指定

メニューA2

M030 16.対象CSVファイルと期間は次のようになります。
訂正が必要な場合、下記WSの行・桁で指示をしてください。
・PATH C:\USERS\YHKAWA\DOWNLOADS\ 内 管理情報
R04C03、指標CSVは R17:26C05、開始日・終了日は
R17:26C09:10
対象指標 開始日 終了日
・01 ES-S&P500 2024/08/01 2024/08/31

OK キャンセル

メニューA3

メニューA4

Microsoft Excel

M029 共通I/O 01 シートを選択、または直接指定してください

OK キャンセル

1 指標D
2 指標M
3 指標一時
4 CSV変換
5 YMD変換
6 WORK
7 TEMP
9 終了
直接指定

メニューA5

Microsoft Excel

M030 20.指標データの更新を行います。
・12 に更新データを
・13 に更新したい原本を
・01 に更新後の保管場所を指定します。

OK

CSV変換
指標D
指標一時

メニューB7

Microsoft Excel

M030 24.指標データの複写を行います。
・12 に複写元を
・01 に複写先を指定してください。

OK

指標一時
CSV変換
指標D

指標Mの更新(例: 1ヶ月分)

指標Mの更新も次の2つが選べます
※最終結果や精度維持に差は生じません

毎回指標Mを再作成する(推奨案)

- 管理情報のADDとENDの設定は1900/1/1～2100/12/31を確認します
- MENU A6 I2:指標D 01:YMD変換
日からの変換は日→週月旬年変換(1/2/3/4)の全てを行って下さい
- MENU A3 01:YMD変換 騰落日数算出
- MENU A4 01:YMD変換 高値安値算出
- MENU B7 I2:YMD変換 01:指標M で複写を実行すれば完了です
- ピボットテーブル4種の更新を実施し情報反映を行って下さい

更新作業で使用したCSV変換/YMD変換/指標一時は作業終了後はMENU B2特定シートクリアで消去して構いません

指標Mを随時更新する手順(代替案)

- 指標Dの更新のために作成したCSV変換を継続して利用します
- 管理情報のADDを2024/8/1にENDを2024/8/31 更新対象期間を設定(期間は例です)
この指定でADD～ENDの期間内のCSVファイルのみが抽出されます
- MENU A6 I2:CSV変換 01:YMD変換へ保存
日からの変換は日→週月旬年変換(1/2/3/4)の全てを行って下さい
実行時にADD/ENDの対象日時が表示されます
- MENU A3 01:YMD変換 騰落日数算出
- MENU A4 01:YMD変換 高値安値算出
- MENU A5 I2:YMD変換 I3:指標M 01:指標一時へ出力
- MENU B7 I2:指標一時 01:指標Dへ複写
- ピボットテーブル4種の更新を実施し情報反映を行って下さい
- 使用したCSV変換はこれ以降は不要のためMENU B2 特定シートクリアで消去します
- 更新10回目を目途に指標MのMENU A3/A4を実施して連続性の精度維持を図ってください

更新作業で使用したCSV変換/YMD変換/指標一時は作業終了後はMENU B2特定シートクリアで消去して構いません

一口メモ

- MENU A6で14.4万行の指標Dから3.8万行の指標Mの再作成に要する時間は約10秒です
- 従って作業手順の多い更新作業より毎回再作成をお勧めします

管理情報

管理情報

b) M030 指標情報		4	5
No	ファンド名	指標	
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ES-S&P500	
2			

メニューA6

- 指標D
- 指標M
- 指標一時
- CSV変換
- YMD変換
- WORK
- TEMP

更新範囲を指定

9	10
ADD	END
2024/08/01	2024/08/31

Microsoft Excel

M030 15.YMD変換機能 内容確認表

・I2 From 指標D
・O1 To YMD変換
・対象期間 1900/01/01 To 2100/12/31

1 日一週変換
2 日一月変換
3 日一旬変換
4 日一年変換

5 月一旬変換
6 月一年変換

8 対象期間の変更
9 終了

OK
キャンセル

メニューA7

- 6 変換 * 指標の変換(日一週・月・旬・年)
- 7 更新 * 騰落率と騰落額の更新 → YMD変換
- 8 対象 * 期間設定 From 1900/01/01 to 2100/12/31
- 9 終了

メニューA5

- M030 20.指標データの更新を行います。
- ・I2 に更新データを → YMD変換
- ・I3 に更新したい原本を → 指標M
- ・O1 に更新後の保管場所を指定します。 → 指標一時

メニューB7

- M030 24.指標データの複写を行います。
- ・I2 に複写元を → 指標一時
- ・O1 に複写先を指定してください。 → YMD変換
- 指標M

メニュー A1. 各指標情報の確認

MENU A1で指標D/指標Mのレコード数や開始行/終了行など管理情報を調査します

- ・ MENU A1 I2:指標D を実行するとI2の分析が行われます
- ・ 指標Dの分析結果の保存先は**第一メモリー**を選択します
- ・ MENU A1 I2:指標M を実行すると指標Mの分析を行います
- ・ 指標Mの分析結果の保存先は**第二メモリー**を選択します
- ・ MENU 9で一旦終了

※ 管理情報の第一メモリー (行96~138) 第二メモリー (行139~180) を参照すると下記のような情報が提供されます

管理情報 ES-S&P500の例

- ・ 上からPATH FN WS名称をはじめ指標D/指標Mの指標名/開始日/終了日/開始行/終了行/レコード数などの詳細を見ることができます

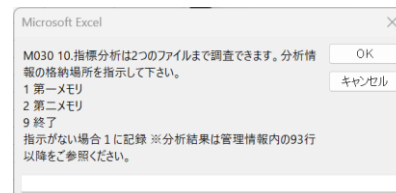
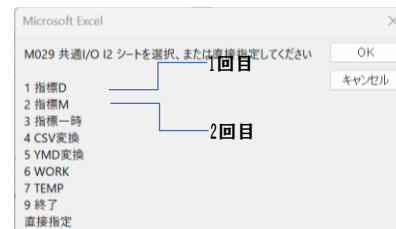
第一メモリー 指標D

PATH	FN	WS
D:\FCI-DATA\COMMON\公開-NISA管理情報.XLSM	指標D	ES-S&P500
11 指標	2018/7/4	
D Day1	2024/8/2	
Day2		
開始行	2	
終了行	1486	
レコード数	1485	

第二メモリー 指標M

D:\FCI-DATA\COMMON\公開-NISA管理情報.XLSM	指標M
11 指標	ES-S&P500
D Day1	
Day2	
開始行	
終了行	
レコード数	
M Day1	2018/7/31
Day2	2024/8/31
開始行	2
終了行	75
レコード数	74
Q Day1	2018/9/30
Day2	2024/9/30
開始行	76
終了行	100
レコード数	25
W Day1	2018/7/8
Day2	2024/9/1
開始行	101
終了行	421
レコード数	321
Y Day1	2018/12/31
Day2	2024/12/31
開始行	422
終了行	428
レコード数	7

メニューA1



下記は日米を代表する指標の組合せ 総レコード数が143,356に及びます。左は管理情報、右は第一メモリーの内容です

インデックス	指標
三菱UFJ eMAXIS 先進国株式	E-K
三菱UFJ eMAXIS 全世界株式	E-ACWI
ST00Q `NKX N225	N225
ST00Q `TPX TOPIX	TOPIX
ST00Q `DJI DOW	DOW
ST00Q `NDQ NASDAQ	NASD
ST00Q `NDX NASDAQ-100	NASD100
ST00Q `SPX S&P500	S&P500
ST00Q USDJPY	USDJPY

PATH	FN	WS	開始日	終了日	W_R(要求)	自動書出 Y/N	Y	記録日	時間
D:\FCI-DATA\COMMON\20301231-投資指標一覧.指標D	E-K	E-ACWI N225	1900/1/2	2100/12/31	1	2	143356	2024/8/29	5:10:55 PM
11 指標	E-K	E-ACWI N225	TOPIX	DOW	NASD	NASD100	S&P500	USDJPY	
D Day1	2009/10/28	2010/7/20	1949/5/16	2004/3/31	1900/1/2	1938/1/3	1985/10/1	1900/1/2	1971/1/4
Day2	2024/8/6	2024/8/6	2024/8/5	2024/8/6	2024/8/5	2024/8/5	2024/8/5	2024/8/5	2024/8/5
開始行	35730	32290	39346	124657	2	58882	81256	91044	129640
終了行	39345	35729	58881	129639	32289	81255	91043	124656	143356
レコード数	3616	3440	19536	4983	32288	22374	9788	33613	13717

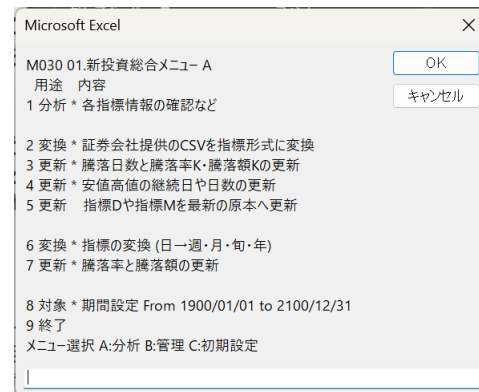
メニュー A2～A7

MENU A2～MENU A7は指標の作成・更新する機能

既に指標D/指標Mの作成と更新の頁でご紹介済みのため、追加の操作説明はありません

- MENU A2 CSV:と01: 証券会社提供のCSVをCSV変換に出力する
- MENU A3 01: 騰落日数や騰落率K/騰落額Kの更新
- MENU A4 01: 安値日高値日と日数L日数Hの更新
- MENU A5 I2: I3: 01: 更新元の指標+更新データを入力として更新済みの新たな指標を作成
- MENU A6 I2: 01 指標DやCSV変換から指標M向けの週月旬年間の変換データを作成
- MENU A7 01: 騰落率と騰落額を再計算し更新

メニューA1



メニュー A8. 期間設定

投資総合分析で取扱うデータの期間設定が行えます

指標D/指標Mの作成や各種更新作業において開始日/終了日で期間指定を行ったり絞込みを行います
期間設定に対応した作業には * がメニューに表示されます

- MENU A1 各指標情報の確認 指定した期間のレコード数の把握
MENU A3 騰落日数などの更新 騰落日数や騰落額Kなど長期分析対象列を指定期間で再計算させる
MENU A4 安値高値の更新 安値高値など長期分析対象列を指定期間で再計算させる
MENU A6 指標の変換 指定期間内の指標変換(日→週月旬年)を行います
MENU A7 騰落率と騰落額更新 指定したWSの騰落率/騰落額(列I/J)の再計算を行います
MENU C6 特定指標の抽出 指定したWS/YMD/指標や指定した期間のレコード抽出を行います
※ MENU C6は後にEXCELのグラフ作成や複数年の特定月のデータ抽出などで活用します

期間設定の操作

- MENU A8 最初の画面に現在対象の開始日～終了日が表示されます
- M030 02 の直接指定行に開始日を入力します
- M030 04 の直接指定行に終了日を入力します
- M030 05 入力した開始日～終了日が表示されます。再度変更したい時は N を入力します
- MWNU A に戻ると MENU A8 の行には新しい期間設定が表示されます

※MENU A2 は管理情報の行17-26/列I/Jで期間を設定するためMENU A8の設定は影響しません

メニューA8

Microsoft Excel

M030 02.指標の対象期間を指定しますか？
下記が対象となります。継続は Y を、変更の場合は N を

開始日 1900/01/01 → 開始時や無指定の時
終了日 2100/12/31

9 終了
直接指定 開始日を yyyy/m/d 形式で入力

OK キャンセル



Microsoft Excel

M030 04.対象となる終了日を yyyy/m/d 形式で入力
直接指定

開始日を yyyy/mm/dd形式で入力

OK キャンセル



Microsoft Excel

M030 05.指標の対象期間は
・開始日 2024/01/01
・終了日 2024/12/31
9 終了
Y/改行:継続 N:再設定

開始日を yyyy/mm/dd形式で入力

OK キャンセル

メニューA

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー A

用途 内容

1 分析 * 各指標情報の確認など

2 変換 > 証券会社提供のCSVを指標形式に変換
3 更新 * 騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新
4 更新 * 安値高値の継続日や日数の更新
5 更新 指標Dや指標Mを最新の原本へ更新

新しい期間の設定内容

6 変換 * 指標の変換 (日→週・月・旬・年)
7 更新 * 騰落率と騰落額の更新

8 対象 * 期間設定 From 2024/01/01 to 2024/12/31

9 終了
メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

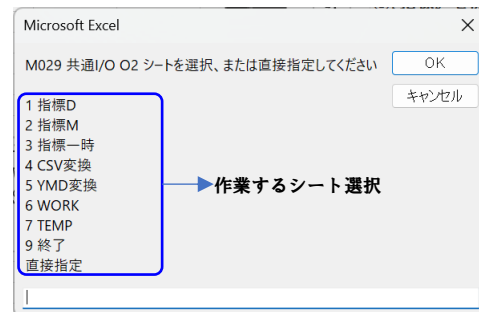
OK キャンセル

メニュー B1. 対象シートを選択

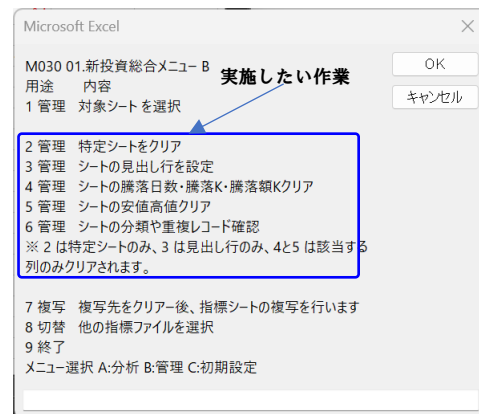
MENU B1で処理を行うための対象シートを選択

- ・ MENU B2～B6 で作業するためのWSを選択します

メニューB1



メニューB



メニュー B2. 特定シートをクリア

MENU B2は指定したシートのクリアを行います

指定シートのみ消去を行い、行1の見出し行を付加します。下記例はCSV変換をクリアした結果です。他シートに全く影響は及ぼしません

メニューB2 CSV変換 MENU B2実施前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P500	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P500	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P500	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		
5																	
6																	

MENU B2実施後



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	

メニュー B3. 見出し行を設定

MENU B3は指定したシートの行1・見出し行の再設定のみを行います

- ・ シートの誤消去や列幅の変更や表示フォントの変更を行ったときに元の標準設定に戻せます
- ・ この作業は行1・列幅・フォントのみが戻され、**行2以降のデータへは全く影響しません**
- ・ 下記例はCSV変換の見出し行設定を実施した例です

メニューB3

CSV変換

MENU B3実施前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1																	
2																	
3																	
4																	

行1: 見出し行を含めシート全体をクリアしたので見出しを復活したい

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P500	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P500	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P500	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

MENU B3実施後

MENU B3実施後に元に戻ります

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P500	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P500	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P500	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

管理情報

No	桁形式
1	開始行
2	指標
3	日付け
4	始値
5	高値
6	安値
7	終値
8	出来高
9	騰落率
10	騰落額
11	騰落日数
12	安値日
13	日数L
14	高値日
15	日数H
16	騰落率K
17	騰落額K

共通	フォント	HG創英7レベ	11			
共通	列の幅	3.6	7	10	12	最小 標準 長い 最大

行1の見出し行文字は管理情報の行31~47から復元され
シートのフォント名・サイズ・列幅は行12~13にある3.6~12(最小/
標準/長い/最大)に従って再設定されます
見出し行と列幅・フォントのみの変更のため行2以降が消去やク
リアーされることはありません

メニュー B4. 騰落日数・騰落率K・騰落額Kクリア

MENU B4 騰落日数・騰落率K・騰落額Kクリア + MENU A3 再計算

- 更新を頻繁に行い前後のデータ連続性がなくなった際に列のクリアと再計算を実施します
- この作業を実施した後にMENU A3を行い騰落日数の再計算を実施します
- この作業は指定したWSの列K/P/Qのみがクリアされ他のシートや列には全く影響を与えません

メニューB4 CSV変換

MENU B4実施前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

MENU B4実施後

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88		2024/08/02	1	2024/08/16	10		
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

メニューA3 CSV変換

MENU A3実施後

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

一口メモ

データ連続性の事例

- 1989/12/29に当時最高値を更新したN225の終値(基準価額)¥38,916円が、その後超えたのは2024/2/22の¥39,099円で回復までに34年間も費やしました
- MENU A5更新作業で例えば2024/2月の1ヶ月分の更新を行った時、更新対象日より前のデータは更新対象とならないため、1989/12/29の高値日(列N)には2024/2/22の情報反映はされず空白のままとなります
- MENU B4/B5とA3/A4の実行で指標の最初から再算出を行い更新してくれるため、高値日(列N)に2024/2/22がその横の日数Hにはその間の営業日数が入り更新されます
- このようにMENU A5の更新作業で反映されなかった連続性の情報が、MENU B4/B5/A3/A4を実施する事で更新され精度が保たれる事になります

メニュー B5. 安値高値クリア

MENU B5 安値高値クリア + MENU A4

- ・更新を頻繁に行い前後のデータ連続性がなくなった際に列のクリアと再計算を実施します
- ・このクリアを実施した後にMENU A4を行い安値高値の再計算を実施します
- ・この作業は列L/M/N/Oのみがクリアされ他のシートや列には全く影響を与えません

メニューB5

CSV変換

MENU B5実施前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

MENU B5実施後

MENU B5実施後 列L/M/N/Oがクリアされる

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4					-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426							
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318							

メニューA4

CSV変換

MENU A4実施後

MENU A4実施後 再計算・連続性確保

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

一口メモ

データ連続性の事例

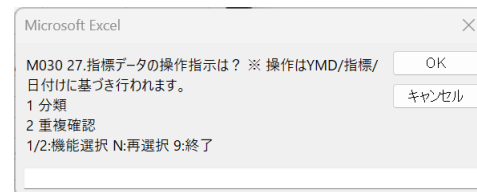
- ・1989/12/29に当時最高値を更新したN225の終値(基準価額)¥38,916円が、その後超えたのは2024/2/22の¥39,099円で回復までに34年間も費やしました
- ・MENU A5で2024/2月の1ヶ月分の更新を行ったても、更新対象日より前のデータは更新対象とならないため、1989/12/29の高値日(列N)には2024/2/22の情報反映はされず空白のままで
- ・MENU B4/B5やA3/A4を実行すると、指標の最初から再算出を行い更新してくれるため、高値日(列N)に2024/2/22がその横の日数Hにはその間の営業日数が入り更新されます
- ・このように更新作業では反映されなかった連続性の情報が、MENU B4/B5/A3/A4を実施する事で更新され連続性と精度が保たれる事になります

メニュー B6. 分類や重複削除

MENU B6分類

- 指標D/指標Mの内部データを手作業で追加変更を行った時に重複や順序が変わる事が発生します
- その際に内部データの整合性を保証するため並べ替えや重複有無を検知し削除を行います
- 並べ替えは YMD→指標→日付けの項目になります
- 重複削除が複数行ある場合は1行目が優先され2行目以降が削除されます

メニューB6



メニューB6

CSV変換

MENU B6実施前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		
5	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		

メニューB6分類



MENU B6実施後

分類を実施すると 2024/8/1→8/2→8/5と並べ替え

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		
5	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		

メニューB6重複



MENU B6実施後

重複削除を実施すると 重複した2行目の2024/8/5が削除されます(1行目が残ります)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2024/08/01	29,763	29,763	29,763	29,763	¥49,704	-0.29%	-88	-4	2024/08/02	1	2024/08/16	10	-9.25%	-2,760
3	D	ES-S&P50	2024/08/02	29,337	29,337	29,337	29,337	¥49,023	-1.43%	-426		2024/08/05	1	2024/08/16	9		
4	D	ES-S&P50	2024/08/05	28,019	28,019	28,019	28,019	¥47,172	-4.49%	-1,318		2024/08/06	1	2024/08/09	4		
5	D	ES-S&P50	2024/08/06	27,091	27,091	27,091	27,091	¥45,593	-3.31%	-928				2024/08/07	1		

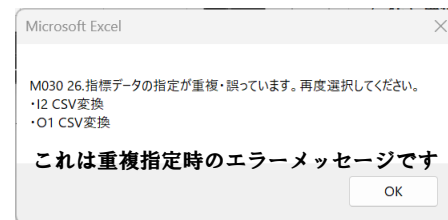
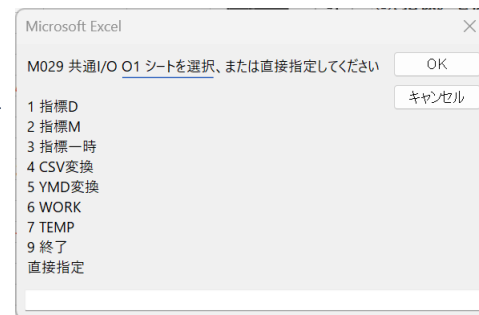
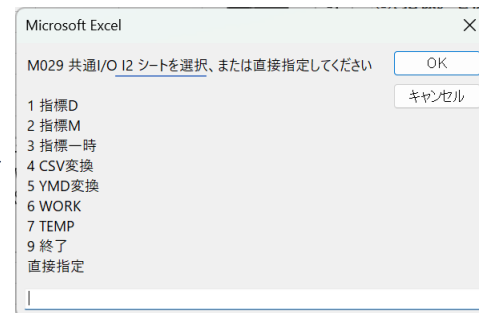
メニュー B7. クリアー後指標シート複写

MENU B7 指標シートの複写

CSV変換やYMD変換で完成したシートを指標Dや指標Mへ複写する際に使用します
複写する前に複写先をクリアーするか指定できます (Y/N)
任意のシートを指定して複写を行います
複写元と複写先シートを同じシートに指定する事はできません

- MENU B7 I2: 01:

メニューB7



メニュー B8. 他の指標ファイルを選択

MENU B8 他の指標ファイルを選択

- M020Aシートにある登録情報で7つの指標ファイルと最大70指標を扱えます
- MENU B8 は既に登録済の指標ファイルを選択して作業に利用できるようにします
- MENU C3 では新たな指標ファイルを登録したり、既に登録済のファイル情報の削除ができます

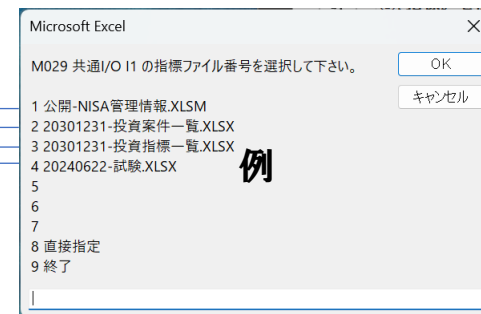
メニューB8

No	ファンド名	指標
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	ES-S&P500
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

No	インデックス	指標
1	三菱UFJ eMAXIS 先進国株式	E-K
2	三菱UFJ eMAXIS 全世界株式	E-ACWI
3	ST00Q `NKX N225	N225
4	ST00Q `TPX TOPIX	TOPIX
5	ST00Q `DJI DOW	DOW
6	ST00Q `NDQ NASDAQ	NASD
7	ST00Q `NDX NASDAQ-100	NASD100
8	ST00Q `SPX S&P500	S&P500
9	ST00Q USDJPY	USDJPY
10		

No	ファンド名	指標
1	楽天 S&P500	R-S&P500
2	楽天 オールカントリー株式	R-ACWI
3	楽天 先進国株式 (除く日本)	R-K
4	楽天 日経225	R-N225
5	三菱UFJ eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)	ES-TOPIX
6	楽天 NASDAQ-100	R-NASD100
7		
8		
9		
10		

No	ファンド名	指標
1	②eMAXIS 半導体	E-SEMI
2	③MUFG ベイリー・ギフォード	M-BAIL
3	⑥トヨタ自動車	TOYOTA
4	⑦テスラ-US	TSLA
5	⑧フィデリティUSハイイールド	F-USHE
6	⑨三菱UFJ 純金	M-GOLD
7	⑩ダイワ US-REIT	D-USREIT
8		
9		
10		



メニュー C1. 初期化 (下記2～4を実施)

MENU C1 初期化

この初期化で次のMENU C2～C4を連続して行います
事前にNISA台帳の Y 設定などを済ませておいてください
MENU C2～C4の詳細は次頁以降をご参照ください

- MENU C2 CSV保管先登録 証券会社提供のCSVファイル保管先登録
- MENU C3 指標ファイルを登録 最大7ファイル・70指標の登録や登録情報削除ができます
- MENU C4 指標を管理情報内へ登録 NISA台帳で登録したい指標に Y を入力したものが管理情報へ登録されます

メニューC1

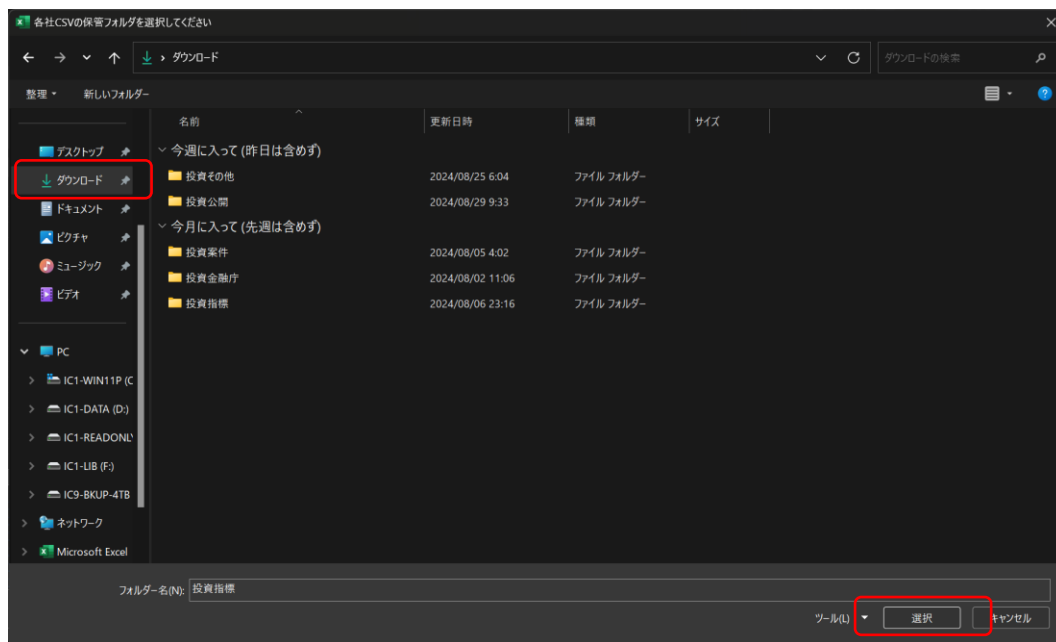


メニュー C2.CSV保管先登録

MENU C2.CSV保管先登録

- ・証券会社が提供するCSVやEXCELファイルの保存先を指定します
- ・CSV変換を行う際のファイル入力場所になります
- ・ブラウザーは「ダウンロード」が標準的な場所のためその近辺を選択しておくとう便利です
- ・保管場所を選択→確認画面→OKと押すと設定作業は完了します

メニューC2



メニュー C3. 指標ファイルを登録

指標ファイルの準備

作業前に新たに指標ファイルを準備しておいてください

指標ファイルには管理するための管理情報など必須のシートが複数あります

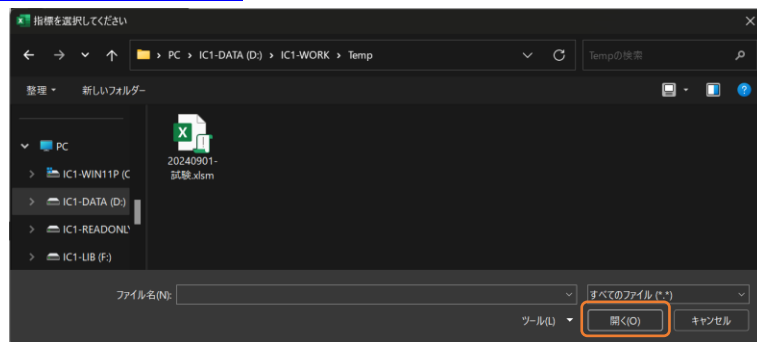
そのため今ご利用のファイルを複写し新しい名前で保存する事をお勧めします

- ・ 例 公開-NISA管理情報.XLSM を複写し 20240901-試験.XLSM に名前変更
- ・ 新ファイルの拡張子は通常のEXCELのXLSXにして保存します
※ 拡張子XLSMは一般のEXCELファイル(XLSX)に投資総合分析ソフトなどマクロを付加した状態で保管する際の拡張子になります。XLSMは通常のEXCELファイルと同様に扱えます

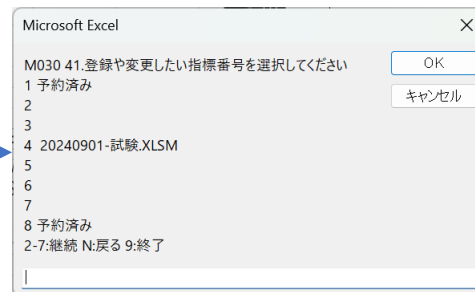
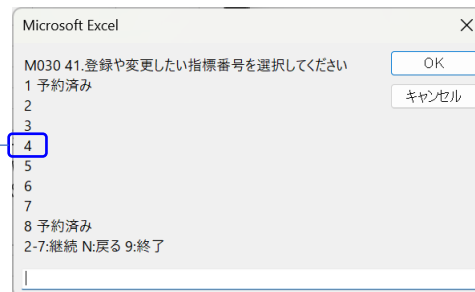
MENU C3 指標ファイルを登録

- ・ MENU C3 でフォルダーを開き登録したいファイルを選択します
- ・ 登録は2~7の位置に行えます。右例では4を選択しそこに登録しています

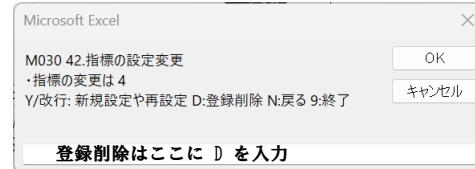
フォルダーとファイルを選択



メニューC3



登録削除



登録後の諸作業

次のような作業が必要になります

- ・ MENU B2 で新しいシートの見出しをクリアします
指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMOがクリア対象です
- ・ MENU C2 で管理情報に登録したい指標を選択し登録します。その後、管理情報内のDownload先からCSVをダウンロードし準備します
- ・ MENU A2/A3/A4/B7 を行い指標Dや指標Mを作成します
- ・ P指標D/P指標M/P指標D2/P指標M2 のピボットテーブル分析にある更新ボタンを押します
- ・ これで新指標ファイルの整備が完了し閲覧や抽出が行えます

指標ファイルの再登録や登録削除

再登録 MENU C3で再度登録を行います

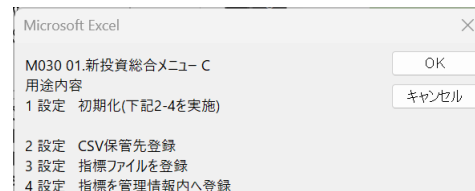
登録削除 MENU C3で番号を選択したあとに確認画面でDと入力

メニュー C4. 指標を管理情報内へ登録

管理情報へ指標の登録

管理情報は、ファイルにどのような指標が記録されているか一元的に管理するためのとても重要な情報が保存されています。その管理情報はNISA台帳で選択された情報を元に設定されます

メニューC4



NISA台帳内の登録したい指標の列Hに Y を設定

NISA

No	運用会社2	ファンド名称3	HF	DL	登録は	指標	拡張子
197	193	三菱UFJ eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	H193	D193		ES-8SB	
198	194	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	H194	D194	Y	ES-S&P500	
199	195	三菱UFJ eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	H195	D195		ES-TOPIX	

MENU C4管理情報へ登録

- M029 複数指標ファイルがある場合、どのファイルに登録するか選択
- M030 31 既に登録済み指標が登録されている場合、管理情報を消去していいか確認
- M030 02 対象とする開始日～終了日を指定可能。120年分ある指標だけ古いものは外して最新の30年間分だけを対象にしたい時などに指定します
- M030 32 指標登録を完了

設定されたNISA台帳の確認は

- 管理情報の行17～26に指標の一覧が
- 行29～48にはCSV変換の情報が複写されます

一口メモ

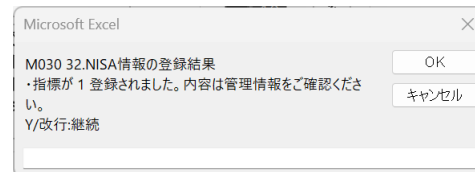
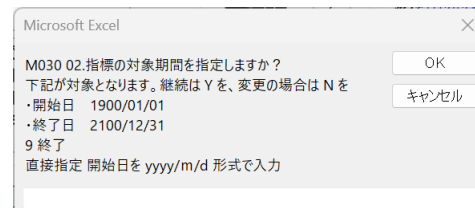
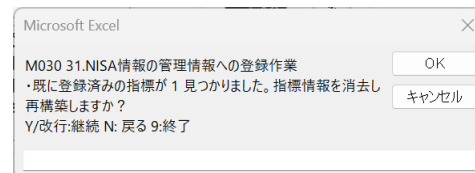
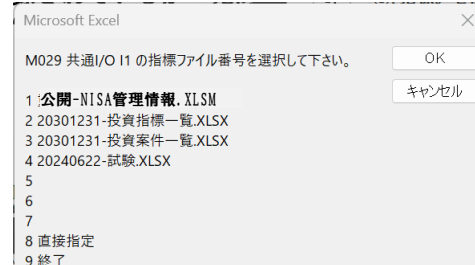
- NISA台帳に11以上の指標にYがあっても最初の10指標だけが設定されます
- NISA台帳にない指標を追加したい場合は「NISA台帳への登録」をご参照ください

管理情報

- 下記例は管理情報へ反映された内容
- 右は証券会社提供のCSVを指標形式に変換するための情報例です

15	b) M030	指標情報	3	4	5	6	7	8
16	No	ファンド名			指標	拡張子	桁形式	NIS
17	1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)			ES-S&P500	1	1	D19
18	2							
19	3							

No	桁形式	1
行	開始行	3
1	YMD	
2	指標	
3	日付け	1
4	始値	2
5	高値	2
6	安値	2
7	終値	2
8	出来高	5
9	騰落率	10
10	騰落額	11
11	騰落日数	
12	安値日	
13	日数L	
14	高値日	
15	日数H	
16	騰落率K	
17	騰落額K	
機能	CSV変換時機能	



メニュー C5. 特定指標を削除

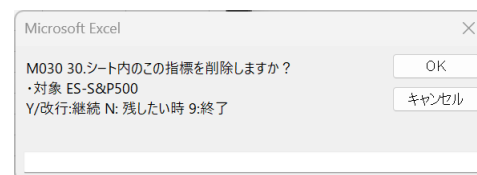
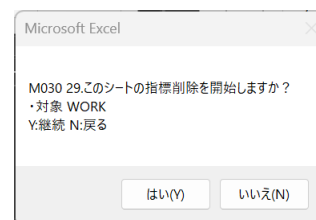
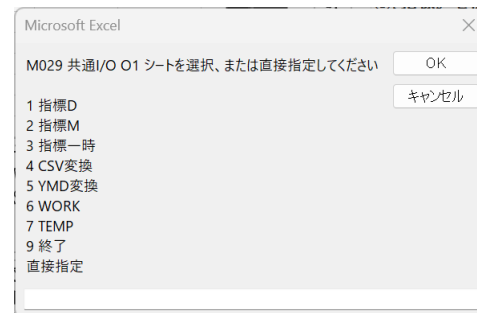
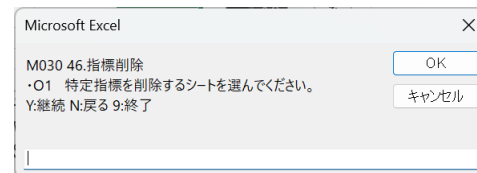
特定指標を削除

- ・ 投資していた指標を売却した時や
- ・ 騰落率の比較や他案件の推移を把握するため試験的に指標導入したものを削除したい
- ・ など不要になった指標を削除するための操作です

MENU C5 特定指標を削除

- ・ M030 46 指標削除確認画面が表示されます
- ・ 削除対象の指標ファイルの一覧が表示されるので対象を選択します
- ・ 次に指標が順番に表示されるので
削除対象なら Y を
削除不要なら N を入力します
- ・ 全ての指標の処理を終えたら終了します
- ・ これで該当するシート内の選択した指標のみ削除されます

メニューC5



一口メモ

- ・ 削除後のシートは YMD→指標→日付け の順に並べ替えられ保存されます
- ・ 指標の削除の確認は管理情報の行17～26に記載された指標全てに対して行われます
- ・ 管理情報に登録されていない指標はこの操作ではできません
その場合は指標シートから直接該当する行を削除してください

メニュー C6. 特定指標の抽出

MENU C6 特定指標の抽出

投資した指標の詳細分析を行ったり、指標を抽出し指定したシートに書き出すことができます。次のような目的で利用します

- 毎年の指定した月のみ限定/抽出し、騰落率や騰落額の分析を行う
- ある期間の指標を指定/抽出しグラフの作成に活用する
- 編集作業用に抽出し加工する

抽出の方法

- M030 35 指標一覧から抽出する指標を選択
- M030 33 OKを押し、I2に抽出元をO1に抽出先を指定します
- M030 34 抽出対象のYMDを選択します(D:日 M:月 Q:旬 W:週 Y:年)
- M030 02 抽出対象の期間を設定します
- M030 36 YMDがMの時に表示されます。01~12を指定すると特定月のみ選択、何も入力せずOKだけ選択すると全ての月が対象となります。YMDがD/Q/W/Yではこの画面が表示されません
- 抽出出力されたWSに他の抽出を加えたい場合はシートのクリアでNを指定し実行します

下記例はES-S&P500で

- 指標M/M/9月度のみを抽出したものに
- 指標M/Yを加えて出力しました
- 実施した回数のデータが積重ねられて抽出されます

YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
M	ES-S&P50	2018/09/30	10,709	11,016	10,580	11,016	¥36	2.82%	302		2018/10/31	1	2019/07/31	10		
M	ES-S&P50	2019/09/30	10,491	11,020	10,399	10,808	¥302	2.79%	293	5	2020/03/31	6	2019/10/31	1	15.72%	1,653
M	ES-S&P50	2020/09/30	12,707	13,043	11,713	12,112	¥1,598	-1.30%	-556	-2	2020/10/31	1	2020/11/30	2	-6.13%	-777
M	ES-S&P50	2021/09/30	17,301	17,319	16,519	16,95	YMD=M	毎年9月のみ抽出					2021/10/31	1	-1.89%	-326
M	ES-S&P50	2022/09/30	19,394	20,600	18,548	18,548	¥14,227	-4.48%	-869	-1	2022/12/31	3	2022/10/31	1	-4.48%	-869
M	ES-S&P50	2023/09/30	23,411	23,715	22,722	22,940	¥26,085	-2.46%	-579	-2	2023/10/31	1	2023/11/30	2	-5.45%	-1,281
M	ES-S&P50	2024/09/30	29,789	29,977	28,435	28,435	¥49,090	-2.61%	-763							
Y	ES-S&P50	2018/12/31	9,936	11,143	8,645	9,231	¥86	-7.10%	-705	-1			2019/12/31	1	-7.10%	-705
Y	ES-S&P50	2019/12/31	8,809	12,060	8,809	12,047	¥444	30.51%	2,816	3			2020/12/31	1	108.04%	9,973
Y	ES-S&P50	2020/12/31	11,873	13,359	8,432	13,288	¥2,289	10.30%	1,241				2021/12/31	1		
Y	ES-S&P50	2021/12/31	13,339	19,204	13,152	19,20	YMD=Y	を追加で抽出			2022/12/31	1	2023/12/31	2		
Y	ES-S&P50	2022/12/31	19,291	20,600	16,876	18,035	¥15,980	-6.09%	-1,169	-1			2023/12/31	1	-6.09%	-1,169
Y	ES-S&P50	2023/12/31	17,690	24,575	17,690	24,281	¥29,988	34.63%	6,246	2			2024/12/31	1	57.67%	10,400
Y	ES-S&P50	2024/12/31	24,154	32,813	24,154	28,435	¥49,090	17.11%	4,154							

メニューC6

Microsoft Excel

M030 35.指標を選択してください。

NO. 指標

1 ES-S&P500

2

3

4

5

6

7

8

9

10

OK

キャンセル

Microsoft Excel

M030 33.指標データ抽出を行います。

・I2に抽出元を

・O1に抽出先を指定してください。

OK

キャンセル

Microsoft Excel

M030 34.指標データYMDを指定します。

・D/M/Q/W/Yを指定

OK

キャンセル

Microsoft Excel

M030 02.指標の対象期間を指定しますか？

下記が対象となります。継続はYを、変更の場合はNを

・開始日 1900/01/01

・終了日 2100/12/31

9 終了

直接指定 開始日を yyyy/m/d 形式で入力

OK

キャンセル

Microsoft Excel

M030 36.特定月の指定(その月の変動を見たい場合)。

・特定月を抽出するには 1~12 を入力してください。

Y/改行: 全ての月を対象 1-12:特定月を抽出 N:戻る E:終了

OK

キャンセル

成長投資枠FTX、株・債券・FXなども管理可能

M030投資総合分析はNISAだけでなく株式・金・債券・不動産など幅広く扱えます

前提は二つ

- ・ 証券会社や投資信託会社がCSVファイルを提供しダウンロードが可能な事
- ・ ファイル内に基準日と基準価額がある事

サポートできる投資分野

- ・ NISAつみたて投資枠
- ・ NISA成長投資枠
- ・ NISA対象になっていない投資信託
- ・ 為替レート (円ドル・円ユーロなど各国)
- ・ 株式
- ・ 公社債
- ・ 金
- ・ 不動産など

準備項目

- ・ NISAつみたて投資枠はNISA台帳に事前に登録されています
- ・ それ以外の投資情報はNISA台帳に登録されていないため、「NISA台帳への登録方法」を参照して設定を行って下さい

CSVが提供されている投資案件

NISA台帳からダウンロードできます

列G DLにDXXX がある時はCSVが提供されています。空白の場合はCSVが提供されていません

NISA																	
	A	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	
1	No	運用会社2	ファンド名称3	H	D	登録 Y	指標	拡張子	開始日	日付	始	高	安	終	出来	機能	
2	※ ファンド追加は行301以降へご登録ください			初版 20240715 改訂 20240725													
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
4	a) 行 005-299 はつみたてNISA(金融庁公開 227本 2023年末)																
5	1	au	スマート・ベシック (安定)	H001	D001	AU-SB4	2	1	2	2	2	2	2	5	D1		
6	2	au	スマート・ベシック (安定成長)	H002	D002	AU-SB6	2	1	2	2	2	2	2	5	D1		
7	3	JP	4資産均等バランス	H003	D003	JP-4	2	1	2	2	2	2	2	4	D1		
8	4	PayPay	アメリカ株式	H004	D004	P-USA	2	1	2	2	2	2	2	3	D2		
9	5	PayPay	世界株式	H005	D005	P-ACWI	2	1	2	2	2	2	2	3	D2		

HXXX: 証券会社や投資会社の商品URLです

DXXX: CSVが提供されています
クリックすると証券会社のURLが開くので
CSVファイルを保存します

管理情報からもダウンロードができます

b) M030 指標情報												CSV変換の対象日を設定		M028 追加更新	
			4	5	6	7	8		9	10	11	12			
No	ファンド名			指標	拡張子	桁形式	NISA		ADD	END	FROM	TO			
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)			ES-S&P500	1	1	D194		1900/01/02	2100/12/31					
2															
3															
4															
5															
6															
7															

一口メモ

- ・つみたてNISAであってもCSVが提供されていないファンドが数件あります

NISA台帳への登録方法

新しい指標をNISA台帳へ登録

- 証券会社提供のCSVファイルをダウンロードしEXCELで開き内容を確認します
- 下記はeMAXIS SLIM S&P500のCSVファイルの例です
- CSVファイルの基準日・基準価額・分配金・純資産の列番号をNISA台帳へ転記します。またデータ開始行の行数も転記します
- NISA台帳のNo～指標名まではご自分で覚え易い名称でご記入ください
- NISA台帳への登録は完了です

eMAXIS SLIM S&P500 CSVファイル形式

	A	B	C	D	E	F
1	eMAXIS	S Slim	米国株式 (S&P500)			
2	基準日	基準価額 (円)	基準価額 (円)	分配金 (円)	純資産総額	
			(分配金再投資)	(税引前)	(億円)	
3	2018/7/3	10038	10038		0.01	
4	2018/7/4	9936	9936		0.01	
5	2018/7/5	9942	9942		1.05	
6	2018/7/6	10057	10057		1.06	
7	2018/7/9	10121	10121		1.62	
8	2018/7/10	10265	10265		1.75	

提供ファイルの拡張子
空白 CSV
2 XLSX

CSVのデータ開始行は3行目から

CSVの日付けは1列目

CSVの基準価額は2列目

始値～終値区分がないため2列目を複写

CSVの純資産総額は5列目

NISA台帳

No	運用会社2	ファンド名称3	HP	DL	登録は	指標	拡張子	開始行	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	機能
198	194	三菱UFJ	eMAXIS	Slim	米国株式 (S&P500)	H194	D194	Y	ES-S&P500	3	1	2	2	2	5

日付け変換機能
空白 変換なし 日付形式
D1 日付変換 文字1231
D2 日付変換 文字31 Dec

指標D/指標M ファイル形式

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	YND	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額	騰落日数	安値日	日数L	高値日	日数H	騰落率K	騰落額K
2	D	ES-S&P50	2018/07/04	9,936	9,936	9,936	9,936	¥0	-1.02%	-102	-1	2018/10/25	77	2018/07/05	1	-1.02%	-102
3	D	ES-S&P50	2018/07/05	9,942	9,942	9,942	9,942	¥1	0.06%	6	7	2018/10/25	76	2018/07/06	1	5.42%	539
4	D	ES-S&P50	2018/07/06	10,057	10,057	10,057	10,057	¥1	1.16%	115		2018/10/25	75	2018/07/09	1		
5	D	ES-S&P50	2018/07/09	10,121	10,121	10,121	10,121	¥2	0.64%	64		2018/10/25	74	2018/07/10	1		
6	D	ES-S&P50	2018/07/10	10,265	10,265	10,265	10,265	¥2	1.42%	144		2018/10/12	64	2018/07/11	1		
7	D	ES-S&P50	2018/07/11	10,288	10,288	10,288	10,288	¥2	0.22%	23		2018/10/12	63	2018/07/12	1		
8	D	ES-S&P50	2018/07/12	10,330	10,330	10,330	10,330	¥3	0.41%	42		2018/07/23	6	2018/07/13	1		

一口メモ

- 指標名は重複しないよう検討しご記入ください。またこの指標名はCSVファイルを保存する際のファイル名にもなります

CSV NISA
NISA台帳

証券会社提供のファイルは2種類ありその拡張子を記載します。CSV:空白 XLSX:2と記入

日付け変換機能

CSVファイルの基準日が8桁の文字で表示されていればD1を、漢字の年月日や英字を含んでいればD2を記入

D1 基準日 20180919
D2 年月日 2023年3月22日 基準日 19-Jul-2024

基準価額

基準価額はNISAは一般に分配金再投資の列を指します。複数価額があり同一金額の場合はどちらを指定しても構いません

URL

リンク整備を行うと後々の作業が大変便利になります

特定指標だけを更新したい

こんな用途に管理情報をコピーして切替方式で…

既に登録済みの指標の一つだけを更新したい
新しい指標を試験的に導入し様子をみたい
などこんな時は管理情報を複数つくって置いて切替え使います

コピーを行う手順は

- 管理情報のタブを右クリック→コピーを選択→右図のレ印(コピーを作成する)
- コピーしたシート名を変更しておく 例:管理情報-Aなど
- 使いたい管理情報のシート名を「管理情報」に変更し投資総合分析を稼働

管理情報に変更して選択

管理情報 管理情報-A 管理情報-C

No	ファンド名	指標
1	三菱UFJ ①eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ES-S&P500
2	三菱UFJ ②eMAXIS 半導体	E-SEMI
3	三菱UFJ ③MUFG ベイリー・ギフォード	M-BAIL
4	ST00Q ④トヨタ自動車	TOYOTA
5	ST00Q ⑦テスラ-US	TESLA
6	Fidelity ⑧フィデリティUSハイイールド	F-USHE
7	三菱UFJ ⑨三菱UFJ 純金	M-GOLD
8	ダイワ ⑩ダイワ US-REIT	D-USREIT
9	ST00Q ④ SPX S&P500	S&P500
10	ST00Q ⑤USDJPY	USDJPY

管理情報 管理情報-A 管理情報-C

No	ファンド名	指標
1	楽天 S&P500	R-S&P500
2	楽天 オールカントリー株式	R-ACWI
3	楽天 先進国株式(除く日本)	R-K
4	楽天 日経225	R-N225
5	三菱UFJ eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	ES-TOPIX
6	楽天 NASDAQ-100	R-NASD100
7		
8		
9		
10		

管理情報 管理情報-A 管理情報-C

No	ファンド名	指標
1	三菱UFJ eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ES-S&P500
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

新しい管理情報の設定や作業

特定指標だけを更新

MENU C4 で特定指標の管理情報を作成。MENU A2/A3/A4で処理を進め一つだけの指標を完成。
その後MENU A5/B7で更新を行えば特定指標だけの更新が行えます

新しい指標を試験的に導入

MENU C4 で試したい複数指標を設定。MENU A2/A3/A4で処理を行いWORKなどに保管する。保管されたWORKの作成作業では現行本番の指標D/指標Mに全く影響を与えることなく作業を勧められます

更新や試行作業終了後は

作業が終了したら管理情報を元に戻して日常の処理形態に戻してください

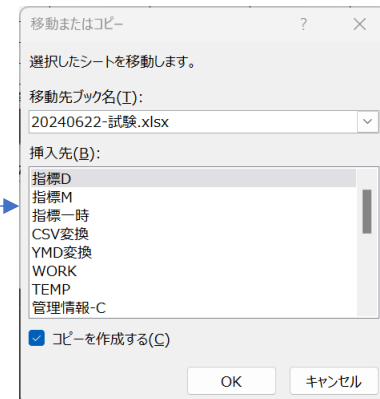
一口メモ

- 管理情報やNISA台帳 複数作成して用途別の管理情報やNISA台帳で管理できます
- ファイル内のシート名はユニークにする必要があります。名前を変更しながら管理して下さい
- 投資総合分析は「管理情報」と「NISA」のみが処理されます

管理情報

管理情報

コピー



ピボットテーブルの新規作成

下記のピボットテーブルを例として作成します

- 下部の⊕をクリックし新しいシートを作成
- 新シートの上にあるメニューで新規→**ピボットテーブル**を選択
- テーブル範囲 (T) に **指標M!\$A:\$Q** と入力してOKをクリック
- メモ** テーブル範囲に**指標D!\$A:\$Q**と指定すれば指標Dを対象としたピボットになります

・これで**ピボットテーブルのフィールド**が表示されます

各項目を下部にあるレイアウトにドラッグドロップします

- YMDと指標→ 行に
- 日付け → 列に、列欄に年 四半期 月が表示されるので月をドラッグし最上部に移動
- 騰落額 → Σ値
- 騰落率▼ → 値フィールドの設定→平均を選択 (タイムラインで選択された年の平均値表示)
- 表示形式で%下2桁を選択
- の%を赤字で表示したい時は表示形式に 0.00%; [赤]-0.00% と設定します

平均 / 騰落率 列ラ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
行ラベル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
DOW	0.81%	-1.46%	-0.13%	1.49%	-0.27%	1.29%	3.19%	-0.76%	-3.39%	2.86%	5.25%	2.21%	0.88%
N225	1.60%	0.90%	-0.08%	0.83%	1.65%	1.99%	-0.43%	-2.40%	0.02%	1.16%	4.57%	0.42%	0.81%
NASD	2.64%	-0.07%	0.80%	1.33%	1.32%	3.79%	4.29%	-0.63%	-5.27%	1.95%	6.32%	1.33%	1.51%
NASD100	2.72%	-0.52%	2.09%	1.53%	1.46%	3.99%	4.53%	-0.20%	-5.27%	2.18%	6.58%	1.31%	1.73%
S&P500	1.52%	-0.57%	0.62%	1.73%	0.59%	2.08%	3.74%	-0.67%	-4.23%	2.40%	5.52%	1.89%	1.21%
TOPIX	1.73%	0.11%	0.63%	0.42%	1.15%	1.65%	-0.11%	-0.57%	0.43%	0.56%	3.54%	0.47%	0.81%
USDJPY	0.62%	1.74%	1.21%	2.05%	-0.12%	2.05%	-2.05%	0.12%	1.84%	1.14%	-1.79%	-1.98%	0.44%
E-ACWI	1.97%	1.42%	0.61%	2.97%	0.83%	3.42%	0.89%	-0.53%	-2.11%	2.77%	3.79%	1.11%	1.43%
E-K	1.87%	1.48%	1.06%	3.07%	0.98%	3.22%	1.17%	-0.29%	-2.12%	2.88%	3.89%	1.07%	1.53%
DOW												9.32%	9.32%
N225												8.67%	8.67%
NASD												19.75%	19.75%
NASD100												23.23%	23.23%
S&P500												14.26%	14.26%
TOPIX												8.89%	8.89%
USDJPY												4.87%	4.87%
E-ACWI												16.79%	16.79%
E-K												18.16%	18.16%

YMD
M
Q
W
Y
(空白)

日付け
2019 年 ~ 2024 年
2019 2020 2021 2022 2023 2024

ピボット作成



指標M!\$A:\$Q

テーブルまたは範囲からのピボットテーブル

表または範囲の選択

テーブル/範囲(T): 指標M!\$A:\$Q

ピボットテーブルを配置する場所を選択してください

☐ 新規ワークシート(N)

☒ 既存のワークシート(E)

場所:(L) Sheet2!\$A\$1

複数のテーブルを分析するかどうかを選択

☐ このデータをデータ モデルに追加する(M)

OK キャンセル

フィールド

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

☒ YMD

☒ 指標

☐ 日付け

☐ 始値

☐ 高値

☐ 安値

☐ 終値

☐ 出来高

☒ 騰落率

☐ 騰落額

☐ 騰落日数

☐ 安値日

☐ 日数L

フィルター

列

年 (日付け)

四半期 (日付け)

月 (日付け)

行

YMD

指標

Σ 値

平均 / 騰落率

NISA台帳からCSVをダウンロード

証券会社提供のCSVファイルダウンロード

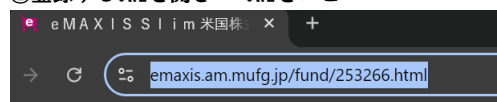
- 各証券会社のファンド説明中に基準価額のダウンロード情報が記載されています
- その情報がNISA台帳や管理情報へ登録されています
- NISA台帳のリンク先をクリック
- 管理情報のリンク先をクリック
- これらのリンク先をクリックする事でどの方法でも同じURLが開けます

NISA台帳へリンク先を登録したい

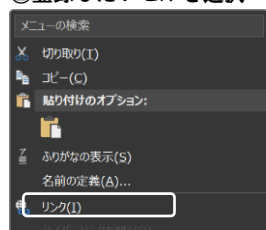
下記手順でファンドの説明やCSVダウンロード先をNISA台帳に設定します

ファンド商品のリンク登録手順

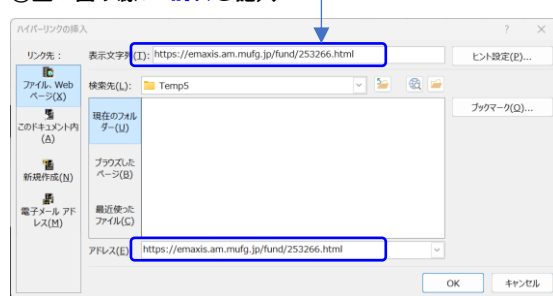
①登録するURLを開き→ URLをコピー



②登録したいセルを選択→右クリック→リンクを選択



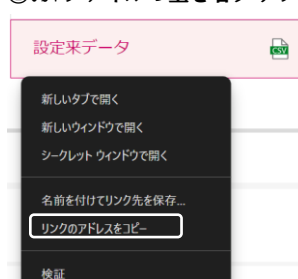
③上の囲み線に H194と記入



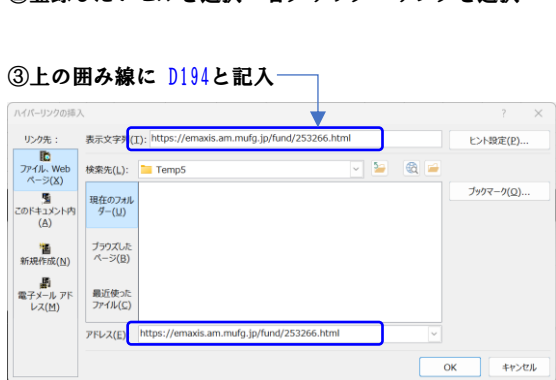
④下の囲み線に ①のURLをペースト

CSVダウンロード先のリンク登録手順

①CSVファイルの上を右クリック→ リンクアドレスをコピー



②登録したいセルを選択→右クリック→リンクを選択



④下の囲み線に ①のURLのペーストを実施

証券会社ホームページ

下記■をCTL+クリックするとURLが開きます

■eMAXIS SLIM S&P500 ファンド商品

■CSVファイル

NISA台帳

下記 H194/D194 クリックでURLが開きます

ファンド名称3	H	D	登録は	指標
へご登録ください			※	
5	6	7	8	9
(金融庁公開 227本 2023年末)			※	
米国株式 (S&P500)	H194	D194	Y	ES-S&P500
追加したい投資案件			※	
			※	

管理情報

下記 D194 クリックでURLが開きます

	指標	拡張子	桁形式	NISA
(S&P500)	ES-S&P500	1	1	D194

楽天証券のCSV保存方法

基準日	基準価額(円)	分配金再投資基準価額(円)	純資産総額(億円)
2023/10/27	9924.9924	0.00	
2023/10/30	9843.9843	0.00	
2023/10/31	9924.9924	0.45	
2023/11/01	10095.10095	2.87	
2023/11/02	10144.10144	3.52	
2023/11/06	10388.10388	5.54	
2023/11/07	10423.10423	6.68	
2023/11/08	10459.10459	9.78	
2023/11/09	10493.10493	11.06	
2023/11/10	10460.10460	12.74	
2023/11/13	10578.10578	14.11	
2023/11/14	10597.10597	16.26	
2023/11/15	10747.10747	18.75	
2023/11/16	10822.10822	19.88	

これが表示された次の操作を実施

- Google Chrome → 保存 → 名前を付けて保存
- MS EDGE → その他のツール → 名前を付けて保存

シートのフォントや大きさを変えたい

次のシートは次の手順で変更や反映ができます

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業 管理情報 行12 列Cにフォントを 列Dにフォントサイズを指定します
反映 MENU B3 見出し行設定を実行すると選択されたシートの変更が行われます
複数ある場合はシートを再度選択して実行してください

管理情報

	A	B	C	D
1				
2	a) M030	基本管理	3	4
3	種類	内容	設定情報	
4	CSV	PATH		
5	指標	PATH		
6	標準	収容先 YMD = D	指標D	
7		収容先 YMD = MQUY	指標M	
8	最大	行数	50,000	(最大行数 1
9				
10				
11				
12	共通	フォント	HG創英ブレ	11

ここを変更

標準 HG創英ブレゼンス サイズ11

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率
2	D	ES-TOPIX	2017/02/28	9,905	9,905	9,905	9,905	¥0	0.09%
3	D	ES-TOPIX	2017/03/01	10,020	10,020	10,020	10,020	¥0	1.16%
4	D	ES-TOPIX	2017/03/02	10,094	10,094	10,094	10,094	¥0	0.74%
5	D	ES-TOPIX	2017/03/03	10,052	10,052	10,052	10,052	¥0	-0.42%
6	D	ES-TOPIX	2017/03/06	10,031	10,031	10,031	10,031	¥0	-0.21%
7	D	ES-TOPIX	2017/03/07	10,032	10,032	10,032	10,032	¥0	0.01%
8	D	ES-TOPIX	2017/03/08	10,001	10,001	10,001	10,001	¥0	-0.31%
9	D	ES-TOPIX	2017/03/09	10,029	10,029	10,029	10,029	¥0	0.28%
10	D	ES-TOPIX	2017/03/10	10,154	10,154	10,154	10,154	¥0	1.25%
11	D	ES-TOPIX	2017/03/13	10,176	10,176	10,176	10,176	¥0	0.22%
12	D	ES-TOPIX	2017/03/14	10,160	10,160	10,160	10,160	¥0	-0.16%
13	D	ES-TOPIX	2017/03/15	10,136	10,136	10,136	10,136	¥1	-0.24%
14	D	ES-TOPIX	2017/03/16	10,145	10,145	10,145	10,145	¥1	0.09%
15	D	ES-TOPIX	2017/03/17	10,101	10,101	10,101	10,101	¥1	-0.43%
16	D	ES-TOPIX	2017/03/21	10,085	10,085	10,085	10,085	¥1	-0.16%
17	D	ES-TOPIX	2017/03/22	9,871	9,871	9,871	9,871	¥1	-2.12%
18	D	ES-TOPIX	2017/03/23	9,872	9,872	9,872	9,872	¥1	0.01%
19	D	ES-TOPIX	2017/03/24	9,960	9,960	9,960	9,960	¥1	0.89%
20	D	ES-TOPIX	2017/03/27	9,833	9,833	9,833	9,833	¥1	-1.28%
21	D	ES-TOPIX	2017/03/28	9,965	9,965	9,965	9,965	¥1	1.34%
22	D	ES-TOPIX	2017/03/29	10,036	10,036	10,036	10,036	¥1	0.71%
23	D	ES-TOPIX	2017/03/30	9,942	9,942	9,942	9,942	¥1	-0.94%
24	D	ES-TOPIX	2017/03/31	9,844	9,844	9,844	9,844	¥1	-0.99%
25	D	ES-TOPIX	2017/04/03	9,875	9,875	9,875	9,875	¥1	0.31%
26	D	ES-TOPIX	2017/04/04	9,792	9,792	9,792	9,792	¥1	-0.84%
27	D	ES-TOPIX	2017/04/05	9,793	9,793	9,793	9,793	¥1	0.01%
28	D	ES-TOPIX	2017/04/06	9,634	9,634	9,634	9,634	¥1	-1.62%
29	D	ES-TOPIX	2017/04/07	9,697	9,697	9,697	9,697	¥1	0.65%
30	D	ES-TOPIX	2017/04/10	9,760	9,760	9,760	9,760	¥1	0.65%

変更後 游ゴシック サイズ 11

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率
2	D	ES-TOPIX	2017/02/28	9,905	9,905	9,905	9,905	¥0	0.09%
3	D	ES-TOPIX	2017/03/01	10,020	10,020	10,020	10,020	¥0	1.16%
4	D	ES-TOPIX	2017/03/02	10,094	10,094	10,094	10,094	¥0	0.74%
5	D	ES-TOPIX	2017/03/03	10,052	10,052	10,052	10,052	¥0	-0.42%
6	D	ES-TOPIX	2017/03/06	10,031	10,031	10,031	10,031	¥0	-0.21%
7	D	ES-TOPIX	2017/03/07	10,032	10,032	10,032	10,032	¥0	0.01%
8	D	ES-TOPIX	2017/03/08	10,001	10,001	10,001	10,001	¥0	-0.31%
9	D	ES-TOPIX	2017/03/09	10,029	10,029	10,029	10,029	¥0	0.28%
10	D	ES-TOPIX	2017/03/10	10,154	10,154	10,154	10,154	¥0	1.25%
11	D	ES-TOPIX	2017/03/13	10,176	10,176	10,176	10,176	¥0	0.22%
12	D	ES-TOPIX	2017/03/14	10,160	10,160	10,160	10,160	¥0	-0.16%
13	D	ES-TOPIX	2017/03/15	10,136	10,136	10,136	10,136	¥1	-0.24%
14	D	ES-TOPIX	2017/03/16	10,145	10,145	10,145	10,145	¥1	0.09%
15	D	ES-TOPIX	2017/03/17	10,101	10,101	10,101	10,101	¥1	-0.43%
16	D	ES-TOPIX	2017/03/21	10,085	10,085	10,085	10,085	¥1	-0.16%
17	D	ES-TOPIX	2017/03/22	9,871	9,871	9,871	9,871	¥1	-2.12%
18	D	ES-TOPIX	2017/03/23	9,872	9,872	9,872	9,872	¥1	0.01%
19	D	ES-TOPIX	2017/03/24	9,960	9,960	9,960	9,960	¥1	0.89%
20	D	ES-TOPIX	2017/03/27	9,833	9,833	9,833	9,833	¥1	-1.28%
21	D	ES-TOPIX	2017/03/28	9,965	9,965	9,965	9,965	¥1	1.34%
22	D	ES-TOPIX	2017/03/29	10,036	10,036	10,036	10,036	¥1	0.71%
23	D	ES-TOPIX	2017/03/30	9,942	9,942	9,942	9,942	¥1	-0.94%
24	D	ES-TOPIX	2017/03/31	9,844	9,844	9,844	9,844	¥1	-0.99%
25	D	ES-TOPIX	2017/04/03	9,875	9,875	9,875	9,875	¥1	0.31%
26	D	ES-TOPIX	2017/04/04	9,792	9,792	9,792	9,792	¥1	-0.84%
27	D	ES-TOPIX	2017/04/05	9,793	9,793	9,793	9,793	¥1	0.01%
28	D	ES-TOPIX	2017/04/06	9,634	9,634	9,634	9,634	¥1	-1.62%
29	D	ES-TOPIX	2017/04/07	9,697	9,697	9,697	9,697	¥1	0.65%
30	D	ES-TOPIX	2017/04/10	9,760	9,760	9,760	9,760	¥1	0.65%

事前調査

①を右クリックし全セルを選択
②でフォントやサイズを選択し確認

一口メモ

- ・設定変更をする前に事前に変更イメージを見たい場合、右の事前調査①②で試してください

シート列の幅や書式設定の変更

シート内の列幅や表示変更を変更します

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業
反映

管理情報 行31~47 列Mに列の幅を 列Nに表示形式を指定します
MENU B3 見出し行設定を実行すると選択されたシートの変更が行われます
複数ある場合はシートを再度選択して実行してください

管理情報

標準 騰落額

YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額
D	ES-TOPIX	2017/02/28	9,905	9,905	9,905	9,905	¥0	0.09%	9
D	ES-TOPIX	2017/03/01	10,020	10,020	10,020	10,020	¥0	1.16%	115
D	ES-TOPIX	2017/03/02	10,094	10,094	10,094	10,094	¥0	0.74%	74
D	ES-TOPIX	2017/03/03	10,052	10,052	10,052	10,052	¥0	-0.42%	-42
D	ES-TOPIX	2017/03/06	10,031	10,031	10,031	10,031	¥0	-0.21%	-21
D	ES-TOPIX	2017/03/07	10,032	10,032	10,032	10,032	¥0	0.01%	1
D	ES-TOPIX	2017/03/08	10,001	10,001	10,001	10,001	¥0	-0.31%	-31
D	ES-TOPIX	2017/03/09	10,029	10,029	10,029	10,029	¥0	0.28%	28
D	ES-TOPIX	2017/03/10	10,154	10,154	10,154	10,154	¥0	1.25%	125
D	ES-TOPIX	2017/03/13	10,176	10,176	10,176	10,176	¥0	0.22%	22
D	ES-TOPIX	2017/03/14	10,160	10,160	10,160	10,160	¥0	-0.16%	-16
D	ES-TOPIX	2017/03/15	10,136	10,136	10,136	10,136	¥1	-0.24%	-24
D	ES-TOPIX	2017/03/16	10,145	10,145	10,145	10,145	¥1	0.09%	9
D	ES-TOPIX	2017/03/17	10,101	10,101	10,101	10,101	¥1	-0.43%	-44
D	ES-TOPIX	2017/03/21	10,085	10,085	10,085	10,085	¥1	-0.16%	-16
D	ES-TOPIX	2017/03/22	9,871	9,871	9,871	9,871	¥1	-2.12%	-214
D	ES-TOPIX	2017/03/23	9,872	9,872	9,872	9,872	¥1	0.01%	1
D	ES-TOPIX	2017/03/24	9,960	9,960	9,960	9,960	¥1	0.89%	88
D	ES-TOPIX	2017/03/27	9,833	9,833	9,833	9,833	¥1	-1.28%	-127

変更後 騰落額を小数点2桁まで表示

YMD	指標	日付け	始値	高値	安値	終値	出来高	騰落率	騰落額
D	ES-TOPIX	2017/02/28	9,905	9,905	9,905	9,905	¥0	0.09%	9.00
D	ES-TOPIX	2017/03/01	10,020	10,020	10,020	10,020	¥0	1.16%	115.00
D	ES-TOPIX	2017/03/02	10,094	10,094	10,094	10,094	¥0	0.74%	74.00
D	ES-TOPIX	2017/03/03	10,052	10,052	10,052	10,052	¥0	-0.42%	-42.00
D	ES-TOPIX	2017/03/06	10,031	10,031	10,031	10,031	¥0	-0.21%	-21.00
D	ES-TOPIX	2017/03/07	10,032	10,032	10,032	10,032	¥0	0.01%	1.00
D	ES-TOPIX	2017/03/08	10,001	10,001	10,001	10,001	¥0	-0.31%	-31.00
D	ES-TOPIX	2017/03/09	10,029	10,029	10,029	10,029	¥0	0.28%	28.00
D	ES-TOPIX	2017/03/10	10,154	10,154	10,154	10,154	¥0	1.25%	125.00
D	ES-TOPIX	2017/03/13	10,176	10,176	10,176	10,176	¥0	0.22%	22.00
D	ES-TOPIX	2017/03/14	10,160	10,160	10,160	10,160	¥0	-0.16%	-16.00
D	ES-TOPIX	2017/03/15	10,136	10,136	10,136	10,136	¥1	-0.24%	-24.00
D	ES-TOPIX	2017/03/16	10,145	10,145	10,145	10,145	¥1	0.09%	9.00
D	ES-TOPIX	2017/03/17	10,101	10,101	10,101	10,101	¥1	-0.43%	-44.00
D	ES-TOPIX	2017/03/21	10,085	10,085	10,085	10,085	¥1	-0.16%	-16.00
D	ES-TOPIX	2017/03/22	9,871	9,871	9,871	9,871	¥1	-2.12%	-214.00
D	ES-TOPIX	2017/03/23	9,872	9,872	9,872	9,872	¥1	0.01%	1.00
D	ES-TOPIX	2017/03/24	9,960	9,960	9,960	9,960	¥1	0.89%	88.00
D	ES-TOPIX	2017/03/27	9,833	9,833	9,833	9,833	¥1	-1.28%	-127.00

	A	B	M	N	O
28	c) M030 CSV変換		13	14	
29	No	桁形式	列幅	書式設定	
30	行	開始行			
31	1	YMD	3.6	G/標準	
32	2	指標	7	G/標準	
33	3	日付け	10	yyyy/mm/dd	
34	4	始値	7	#,##0:[赤]-#,##0	
35	5	高値	7	#,##0:[赤]-#,##0	
36	6	安値	7	#,##0:[赤]-#,##0	
37	7	終値	7	#,##0:[赤]-#,##0	
38	8	出来高	7	¥#,##0	
39	9	騰落率	7	0.00%:[赤]-0.00%	
40	10	騰落額	7	#,##0:[赤]-#,##0	
41	11	騰落日数	7	#,##0:[赤]-#,##0	
42	12	安値日	10	yyyy/mm/dd	
43	13	日数L	7	G/標準	
44	14	高値日	10	yyyy/mm/dd	
45	15	日数H	7	G/標準	
46	16	騰落率K	7	0.00%:[赤]-0.00%	
47	17	騰落額K	7	#,##0:[赤]-#,##0	
48	機能	CSV変換時機能			

ここを変更

書式設定

概要 EXCELの標準書式設定に準じています
※下記で変更した書式部分は赤字で記載しました

基準価額や騰落額を小数点2桁まで表示したい

※ドル・セントまで計算する米国指標に特に効果

・#,##0:[赤]-#,##0 → #,##0.00:[赤]-#,##0.00

年月日をyyyy/mm/ddからyyyy年mm月dd日で表示したい

・yyyy/mm/dd → yyyy年mm月dd日

上昇は青字で下落は赤字で表示したい

・#,##0:[赤]-#,##0 → [青]#,##0:[赤]-#,##0

日付けの列幅を広げたい

・10 → 14

こんな時

基準価額を分配金タイプに変更する

分配金型の基準価額で計算させたい

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業 対象の証券会社提供のCSVファイルの列に分配型/再投資型の有無を確認します

分配型がある場合CSVファイルの列位置をNISA台帳に反映します

反映 MENU C4でNISA台帳から管理情報への登録を実施します

MENU A2/A3/A4を実行しCSVファイルから指標D/指標Mを再作成してください

証券会社提供CSVファイル例

ES-S&P500 (eMAXIS SLIM S&P500) の場合

	A	B	C	D	E
1	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)				
2	基準日	基準価額 (円)	基準価額 (円)	分配金 (円)	純資産総額
			(分配金再投資)	(税引前)	(億円)
3	2018/7/3	10038	10038		0.01
4	2018/7/4	9936	9936		0.01
5	2018/7/5	9942	9942		1.05
6	2018/7/6	10057	10057		1.06
7	2018/7/9	10121	10121		1.62
8	2018/7/10	10265	10265		1.75

このファンドは設定日から一度も分配金を支払ったことがなく2つの基準価額に差異は生じません。従ってNISA台帳に列2or列3のどちらを指定しても結果は同一です

AL-N225 (朝日ライフ 日経平均) の場合

	A	B	C	D	E
1	170101	朝日ライフ 日経平均ファンド			
2	年月日	基準価額 (円)	基準価額 (円)	純資産総額	分配金
			(分配金再投資)	(百万円)	(円)
1468	2006/11/14	11477	11477	2824	0
1469	2006/11/15	10046	11446	2472	1400
1470	2006/11/16	9996	11389	2750	0
1471	2006/11/17	9948	11334	2737	0
1472	2006/11/20	9724	11079	2676	0
1473	2006/11/21	9727	11083	2678	0
1474	2006/11/22	9836	11207	2905	0

このファンドは2006/11/15の分配金の支払いに伴い列2の基準価額・分配型が下がる例です。分配金再投資の列3と基準価額が異なります

NISA台帳への登録や変更

分配金型がないため始値～終値まで2/3のどちらを指定してもよい

指標	基準日	開始日	日付	始値	高値	安値	終値	出来高
9	10	11	12	13	14	15	16	17
ES-S&P500		3	1	2	2	2	2	5

分配金型の場合は始値～終値に2を

指標	基準日	開始日	日付	始値	高値	安値	終値	出来高
9	10	11	12	13	14	15	16	17
AL-N225		3	1	2	2	2	2	4

分配金再投資型の場合は始値～終値に3を

指標	基準日	開始日	日付	始値	高値	安値	終値	出来高
9	10	11	12	13	14	15	16	17
AL-N225		3	1	3	3	3	3	4

一口メモ

- ・分配金型/分配金再投資型は各ファンドのホームページや目論見書をご参照ください

見出し行を変更したい

指標シートの見出し行を変更します

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業 管理情報 行31～47 列Bのセル内容を変更すると見出しが変更されます

反映 MENU C3で新しい見出しが表示されます

※ 行2以降のデータは変更されないためデータに影響を与える事はありません

標準 管理情報・見出し

28	c)M030 CSV変換
29	No 桁形式
30	行 開始行
31	1 YMD
32	2 指標
33	3 日付け
34	4 始値
35	5 高値
36	6 安値
37	7 終値
38	8 出来高
39	9 騰落率
40	10 騰落額
41	11 騰落日数
42	12 安値日
43	13 日数L
44	14 高値日
45	15 日数H
46	16 騰落率K
47	17 騰落額K
48	機能 CSV変換時機能

変更できる見出し範囲
の領域・セルが変更可能です

見出し変更例

28	c)M030 CSV変換
29	No 桁形式
30	行 開始行
31	1 YMD
32	2 指標
33	3 日付け
34	4 始値
35	5 高値
36	6 安値
37	7 終値
38	8 総資産高
39	9 騰落率
40	10 騰落額
41	11 騰落日数
42	12 安値日
43	13 日数L
44	14 高値日
45	15 日数H
46	16 騰落率K
47	17 騰落額K
48	機能 CSV変換時機能

出来高を総資産高に変更する

指標で扱える件数を増減したい

指標シートに保存する件数・行数を増減できます

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業

管理情報 行8 列Cのセル内容を新しい数値で設定します

標準: 50,000 最大: 1,048,576 で1シート内で扱える行数になります

反映

次回 投資総合分析の起動時に自動反映されます

※ 既に記録済みのデータに影響を与える事はありません

標準 管理情報・件数

2	a) M030 基本管理	3	4	5	
3	種類	内容	設定情報		
4	CSV	PATH			
5	指標	PATH			
6	標準	収容先 YMD = D	指標D		
7		収容先 YMD = MQWY	指標M		
8	最大	行数	50,000	最大行数 1,048,576行)	
9					
10					
11					
12	共通	フォント	HC創英7'レゼ'	11	
13	共通				

標準行数: 50,000

変更後の件数例

2	a) M030 基本管理	3	4	5	
3	種類	内容	設定情報		
4	CSV	PATH			
5	指標	PATH			
6	標準	収容先 YMD = D	指標D		
7		収容先 YMD = MQWY	指標M		
8	最大	行数	160,000	最大行数 1,048,576行)	
9					
10					
11					
12	共通	フォント	HC創英7'レゼ'	11	
13	共通				

設定: 160,000 へ変更した例

メニューやメッセージの変更

投資総合分析で表示するメニューやメッセージを変更できます

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業

M020A 行103以降に記載されたメニューやメッセージの内容を変更できます
MENUやメッセージにIDがあり該当するIDを探して変更してください

反映

次回 投資総合分析の起動時に自動反映されます
※ 既に記録済みのデータに影響を与える事はありません

標準 M020A

変更後の件数例

M030 01.新投資総合メニュー A			
用途	内容		
1 分析 *	各指標情報の確認など		
2 変換 *	証券会社提供のCSVを指標形式に変換		
3 更新 *	騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新		
4 更新 *	安値高値の継続日や日数の更新		
5 更新 *	指標Dや指標Mを最新の原本へ更新		
6 変換 *	指標の変換 (日→週・月・旬・年)		
7 更新 *	騰落率と騰落額の更新		
8 対象 *	期間設定 From		
9 終了			
メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定			

M030 01.新投資総合メニュー A			
用途	内容		
1 分析 *	指標D/指標M 情報確認		
2 変換 *	証券会社提供のCSVを指標形式に変換		
3 更新 *	騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新		
4 更新 *	安値高値の継続日や日数の更新		
5 更新 *	指標Dや指標Mを最新の原本へ更新		
6 変換 *	指標の変換 (日→週・月・旬・年)		
7 更新 *	騰落率と騰落額の更新		
8 対象 *	期間設定 From		
9 終了			
メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定			

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー A

用途 内容

1 分析 * 各指標情報の確認など

2 変換 * 証券会社提供のCSVを指標形式に変換

3 更新 * 騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新

4 更新 * 安値高値の継続日や日数の更新

5 更新 * 指標Dや指標Mを最新の原本へ更新

6 変換 * 指標の変換 (日→週・月・旬・年)

7 更新 * 騰落率と騰落額の更新

8 対象 * 期間設定 From 1900/01/01 to 2100/12/31

9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

OK

キャンセル

Microsoft Excel

M030 01.新投資総合メニュー A

用途 内容

1 分析 * 指標D/指標M 情報確認

2 変換 * 証券会社提供のCSVを指標形式に変換

3 更新 * 騰落日数と騰落率K・騰落額Kの更新

4 更新 * 安値高値の継続日や日数の更新

5 更新 * 指標Dや指標Mを最新の原本へ更新

6 変換 * 指標の変換 (日→週・月・旬・年)

7 更新 * 騰落率と騰落額の更新

8 対象 * 期間設定 From 1900/01/01 to 2100/12/31

9 終了

メニュー選択 A:分析 B:管理 C:初期設定

OK

キャンセル

指標シート名の変更

投資総合分析で表示するメニューやメッセージを変更できます

対象シート 指標D/指標M/指標一時/CSV変換/YMD変換/WORK/TEMPなど指標シート

変更作業

M020A 行26~32 列D~J に記載したシート名を変更できます
シート名はEXCELシートのルールに準じた名称をご利用下さい

反映

次回 投資総合分析の起動時に自動反映されます
※ 既に記録済みのシートやデータに影響を与える事はありません

標準 M020A

MENU	OFFSET	50	Ver	2024/9/20					
	4	5	6	7	8	9	10		
	I1	I2	I3	O1	O2	S1	S2		
	Y	N	N	N	N	N	N		
1	指標D	指標D	指標D	指標D	指標D	指標D	指標D		
2	指標M	指標M	指標M	指標M	指標M	指標M	指標M		
3	指標一時	指標一時	指標一時	指標一時	指標一時	指標一時	指標一時		
4	CSV変換	CSV変換	CSV変換	CSV変換	CSV変換	CSV変換	CSV変換		
5	YMD変換	YMD変換	YMD変換	YMD変換	YMD変換	YMD変換	YMD変換		
6	WORK	WORK	WORK	WORK	WORK	WORK	WORK		
7	TEMP	TEMP	TEMP	TEMP	TEMP	TEMP	TEMP		

変更後のM020A例

MENU	OFFSET	50	Ver	2024/9/20					
	4	5	6	7	8	9	10		
	I1	I2	I3	O1	O2	S1	S2		
	Y	N	N	N	N	N	N		
1	ID	ID	ID	ID	ID	ID	指標D		
2	IM	IM	IM	IM	IM	IM	指標M		
3	Itemp	Itemp	Itemp	Itemp	Itemp	Itemp	指標一時		
4	CSVconv	CSVconv	CSVconv	CSVconv	CSVconv	CSVconv	CSV変換		
5	YMDconv	YMDconv	YMDconv	YMDconv	YMDconv	YMDconv	YMD変換		
6	Work	Work	Work	Work	Work	Work	WORK		
7	Temp	Temp	Temp	Temp	Temp	Temp	TEMP		

管理情報

共通ファイル入出力の仕組み

- 投資総合分析は最大7ファイルまで管理します。
シートを選択する際に表示するメッセージ
M029 共通I/Oの後に続く2文字は、M020Aの行6
に記載したファイルIDを表示しています。
- ファイルI2を処理する際はM029 I2と、ファイルI3を処理する際はM029 I3と表示します。この列の下に並ぶシート名一覧がI2やI3で選択できるシート一覧であり、メッセージ内に表示されています
- I1からS2まで各ID毎に7つのシート名を登録でき、各ID毎に異なる名称を指定する事も可能です
- 行26~32の各列のシート名を変更する事で画面表示や実際に読書きするシートが選択される事になります
- この変更を行っても従来からあるシートには一切影響を与える事はありません
- ご利用者が分かり易い名前をつけ管理する事ができるようになります

一口メモ

・新しいシート名を指定して起動すると、シートが見つからないため新規シート作成をするかメッセージが表示されます。処理継続で Y を選択するとシートが作成され見出しや列幅が初期化され利用可能になります

終了時にファイルを保存する/しない

投資総合分析を実行中は各種シートの変更を行います

終了時

実行中の変更を反映する時は → 終了時に保存を
実行中の変更を取消したい時は → 終了時に保存しない
を選択してください

実行中の各種シート変更有無

シート名	READ	WRITE (変更)	ピボット
M020A	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
はじめに			
管理情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
NISA	<input type="radio"/>		
指標D	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
指標M	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
指標一時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
CSV変換	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
YMD変換	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
WORK	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
TEMP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
P指標D			<input type="radio"/>
P指標M			<input type="radio"/>
P指標D2			<input type="radio"/>
P指標M2			<input type="radio"/>



ご利用にあたって

1. 開発意図

2024年に新NISAの運用が始まり2024年6月時点で

- ・NISA口座数は 2,427万口座
- ・NISA累計買付額は 45兆円

に及ぶ程爆発的な伸びとなりました。証券会社を決め口座開設はできたけど

- ・NISAのどのファンドを購入すればよい？
- ・期待される騰貴率や騰貴額はどの程度？
- ・つみたて投資枠と成長投資枠どちらが効果がある？
- ・安い時に購入したいけど下落の何日目頃が最安値になる？
- ・騰貴は何日、何年程度続く？いつ売ればよい？

など購入前に疑問も数多く発生します。この投資総合分析ソフトは4. EXCELの機能を活用し手軽に

- ・ファンドを分析し購入する商品を決定したり
- ・売買する日の分析など支援するためのツールです

間違いないファンドを選択・購入し適切な利益を得る。これがこのツールの目標です。機能不足の点多々あると思いますがご活用ください。またNISA/非NISA混在型でほぼ全ての投資案件を管理できるので大変便利なツールで長期にご利用いただけます

2. M030投資総合分析のトラブル時は

開発時は慎重にテストを行い、NISAつみたて枠の230種の指標の検証を全て実施しています。が、処理の流れに伴い操作手順が異なるとソフト障害が発生する事もあります。そのような場合は下記にお気軽にご連絡ください。

ご連絡いただく内容「MENU XX を実行中に無効な計算値」と表示される位の情報で構いません。連絡先は次の通りです

hkawan2@gmail.com 河野博幸(かわの ひろゆき)

3. 著作権

この「投資総合分析」はMicrosoftが提供するVBAで作成し3モジュールから構成されています

- ・M031 投資総合分析 主ロジック (MENU A/B)
- ・M028 投資総合分析 主ロジック (MENU C)
- ・M029 同上 共通ファイル入出力

このソフトの著作権はニックネームIC1が所有します。ロジックの分析や、再配布、トレースをされても全く構いません

ロジックの追加や改善事項があればご連絡ください。協議の上ロジックの組み込みや機能改善を検討し実施いたします

4. 今後の拡張計画

今後とも投資案件の手軽な管理ができるツールとして改善を図る予定です

- ・ 20241001 公開 初版/日本語版
- ・ 20250331 予定 投資総合分析の国際版